全国オフィスワーカー意識調査2026

全設問の設問文と回答分布

株式会社イトーキ 中央研究所



CONTENTS｜目次

この調査について｜調査の問いと枠組み p.3
サマリー｜主な設問の結果 p.4
本資料の見方｜回答者の条件と集計の基準 p.5
設問一覧｜調査の構造と設問番号 p.6

PART 1 回答者と職場のすがた p.7

第1章 回答者と勤務先 p.7
第2章 職場と働き方 p.10

PART 2 オフィス環境・運営、職場体験、成果 p.14

第3章 オフィス環境・運営 p.14
QB1 オフィス環境・運営（10項目） p.15
QB11 オフィス環境・運用の制度への満足（2項目） p.25
まとめ：GAPの上位・下位と考察 p.27
第4章 職場体験 p.28
QC1 仕事の進めやすさ・意味・学び（6項目） p.29
QG1 周囲との関わり（4項目） p.35
QF4 成長・協働・支えの実感（3項目） p.39
まとめ：GAPの上位・下位と考察 p.42
第5章 成果 p.43
QF1 働き続けたい・勧めたい・生産的（3項目） p.44
まとめ：GAPと考察 p.47
第6章 気持ち p.48
QE1 孤独感・幸福感（2項目） p.49
まとめ：GAPと考察 p.51

PART 3 これからの職場 p.52

第7章 これからの職場 p.52
QW1 今後重視したい職場環境 p.53
QW2 オフィスに期待する役割 p.55

PART 4 地域で見る p.57

第8章 地域で見る p.57
回答者数と働く前提・体験と成果 p.58

PART 5 オフィスの役割で見る p.60

第9章 オフィスの役割で見る p.60
回答者数と働く前提・体験と成果・ニーズ p.61

参考資料 p.64
30項目のGAPと地域・役割の差 p.65
働き方制度別のGAP p.66
肯定・中間・否定の内訳 p.67
性別・年代・未既婚・同居の子ども p.68
SC3 職種 p.69
SC6 勤務地の都道府県 p.70
引用・転載とお問い合わせ p.71

調査の問い｜オフィスの環境や運営の評価で、体験や成果の実感はどう違うのか

出社が前提となった働き方の中で実施した調査。オフィス環境（集中・相談・会議・ITなどの物理環境）と、その運営（出社ルールなどの働き方の運用、上司の支援・意思決定などの組織の運営）の評価が違う人で、働く人の日々の体験や、「働き続けたい」「生産的に働けている」といった成果の実感がどう違うのかを明らかにすることを目的とした

調査の枠組みと、本資料の構成

オフィス環境・運営

物理環境・働き方の運用・組織の運営（QB1）と満足（QB11）：第3章

p.14～27

→

職場体験

業務のしやすさ・成長と意味の実感・組織とのつながり（QC1・QG1・QF4）：第4章

p.28～42

→

成果

働き続けたい・他者に勧めたい・生産的に働けている（QF1、本人の意向・実感）：第5章

p.43～47

	内容	ページ
前提	回答者の勤務先・働き方（19設問を1ページ4項目程度で。性別・年代などの属性は参考資料）	p.7～13
気持ち	成果とあわせて見る孤独感・幸福感（QE1）：第6章	p.48～51
これから	今後重視したい職場環境、オフィスに期待する役割（QW1・QW2）：第7章	p.52～56
深掘り①地域	8地域で、働く前提と、働きやすさの実感・成果がどれだけ違うか	p.57～59
深掘り②役割	オフィスの役割（つくる・売る・ささえる・統括する）で、働く前提・実感・成果・ニーズがどれだけ違うか	p.60～63

本資料は全設問の回答分布（単純集計）を中心に示し、各章の最後に肯定と否定の差（GAP）と、一部のクロス集計による考察を加えた。一時点の調査による統計的な関係（傾向）で、因果関係を示すものではない。オフィス関連事業を営む当社の研究所による調査で、特定の製品・サービスの効果を検証するものではない

対象：本調査の対象者（p.5）。全国8地域の企業に勤務する20～59歳の正社員。インターネット調査、2026年8月28日～9月2日、有効回答4,650人

働き続けたい46.2%、他者に勧めたい26.8%。オフィスで得ている体験(出社の質)をたずねた

出社の「量」ではなく、オフィスで得ている体験をたずねた調査。原則フル出社84.3%などは本調査の対象者(p.5)の値。主な設問の結果(%は加重値、5段階評価はTOP2%)

区分	主な結果	ページ
働き方	原則フル出社84.3%、出社日数「週5日以上」86.5%、固定席(自席中心)74.3%、希望に近い29.9%	p.11～12
オフィス環境・運営	10項目のTOP2%は23.5～45.4%(場所選択の効果～相談しやすい場所)。オフィス環境への満足39.4%、運用の制度への満足36.6%	p.15～26
職場体験	仕事の進めやすさ・意味・学び(6項目)38.8～51.5%、周囲との関わり(4項目)39.0～51.6%、成長・協働・支えの実感(3項目)30.9～36.8%	p.29～41
成果	働き続けたい46.2%、生産的に働けている37.9%、他者に勧めたい26.8%	p.44～46
気持ち	幸福感を感じることがある27.4%、孤独感を感じることがある26.3%	p.49～50
これから	重視したい環境(3つまで)は集中49.5%・通勤42.4%。オフィスに期待する役割は集中52.9%・相談・連携42.4%	p.53～56
地域・役割	働きやすさの実感(3軸)の差は8地域で最大0.17点、4役割で最大0.24点。重視したい環境に「集中」を選んだ割合は「つくる」60.2%、「売る」42.8%	p.58～63

単位:%。%は加重値(地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5)、n は回答者数(補正前)。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。TOP2%＝5段階の上位2段階の計。対象は本調査の対象者(p.5)で、原則フル出社・固定席などの比率は就業者全体の値ではない
出典:本調査(n=4,650)。各ページの設問を参照

本資料の見方｜回答者の条件と集計の基準

項目	内容
回答者の条件	日本国内で勤務する正社員、20～59歳（平均41.0歳、加重）、仕事の中心がオフィスで、業務全体のうちオフィスへ出社して働く時間の割合が7割以上（SC4：「7割以上9割未満」10.2%・「9割以上」89.8%）。男性63.1%・女性36.9%、年代は20代～50代が各2～3割（補正後。詳細は参考資料）。オフィス出社を基本とする働き方の人を対象とし、実際の出社日数やリモートの状況は別の設問（QA10・QA11、p.12）でたずねている
集計対象	有効回答4,650人。回答者5,350人から、全30項目（QB1～QF1）に同じ選択肢で答えた700人（13.1%）を除外。インターネット調査、2026年8月28日～9月2日、依頼数128,313件
%（加重値）	地域×年代×性別のウエイトで、母集団（総務省「令和4年就業構造基本調査」の、従業者50人以上の民間企業に勤務する正規の職員・従業員〔管理的・専門的技術的・事務の職業、20～59歳〕）の構成に補正した値。ウエイトは地域×年代×性別の構成だけを合わせたもので、規模・業種・職種は補正していない。ウエイトの範囲は0.15～8.91（最大は首都圏・女性・50代、回答者13人）。回答者には母集団の範囲外にあたる人（従業員10～49人の企業20.4%＝p.8、業種「公共」9.2%＝p.9など）も含まれる。加重値は母集団の厳密な推計ではなく、地域・年代・性別の構成の偏りを補正した値として読む
n／回答形式	n＝補正前の回答者数。%はすべて加重値。単一回答は合計100%。複数回答（SC3、QW1_1、QW2_1）は選んだ人の割合で、合計は100%を超える
5段階評価	TOP2%＝上位2段階（4・5）の計、BOTTOM2%＝下位2段階（1・2）の計、平均点＝1～5点の加重平均。職場体験の3軸＝業務のしやすさ（QC1_1～4）・成長・意味の実感（QC1_5・QC1_6・QF4_1）・組織とのつながり（QG1_1～4）の各平均点。成果＝働き続けたい（QF1_1）・他者に勧めたい（QF1_2）・生産的に働けている（QF1_3）
GAP	TOP2%−BOTTOM2%（ポイント）。肯定と否定のどちらが上回るかを示す。有効サンプルサイズに基づき単純無作為抽出を仮定した場合、GAPの95%信頼区間の幅はおおむね±3ポイント程度となるため、|GAP|が3未満の項目は「拮抗」とみる。各章の最後に掲載
設問文	実際の回答画面の文言をそのまま記載。選択肢の並びも調査票の順。設問番号と内容の一覧はp.6
誤差の目安	本調査はインターネット調査会社のモニターから回答を集めた非確率標本のため、誤差は目安として示す。単純無作為抽出を仮定した場合、全体（n=4,650）の比率の95%信頼区間の幅は最大±1.4ポイント程度。ウエイトで補正しているため、有効サンプルサイズ約2,300に基づく±2.0ポイント程度を目安とする

集計上の注記

1. SC5（従業員規模）の「1～9人」「わからない」：回答者はいない（p.8）
2. QW1_1・QW2_1：見出しは「回答は3つ」だが、1つまたは2つだけ選んだ人がいる（QW1_1は1,279人。QW2_1は2,228人で、うち719人は単独で選ぶ「特にオフィスに期待する役割はない」を選択）。「3つまで選択」として集計した（p.53・55）
3. 対象者の条件（SC4）を満たす人のうち、働き方制度で「リモート中心」「原則フルリモート」（計36人）、出社日数で「週0日」（42人）、勤務形態で「自宅中心」（52人）を選んだ人がいる。設問ごとにとらえ方や時期が異なる可能性があり、集計から除外していない
4. 差の判定（p.63・66）：確かな差＝検定でp<0.01、参考程度＝p=0.01～0.05。比較の数が多いため、参考程度の差には偶然も含まれうる

SC4の設問文（回答画面）：「あなたの業務全体の中で、オフィスへ出社して働いている時間の割合はどの程度ですか。」調査票の設計段階の文言（オフィス（執務）ワークが占める割合）から修正して実査した。出典：本調査（n=4,650）

設問一覧｜調査の構造と設問番号

本資料に出てくる設問番号の一覧。評価の設問は、調査の枠組み（オフィス環境・運営 → 職場体験 → 成果）に沿って並べた。（ ）内は掲載ページ

オフィス環境・運営 第3章（p.14～27）

物理環境
QB1_1 集中できる場所
QB1_2 音や視線の配慮
QB1_3 相談しやすい場所
QB1_4 会議環境
QB1_5 ITツール・通信

働き方の運用
QB1_6 対面・リモートの両立
QB1_7 出社ルールの適切さ
QB1_8 場所選択の効果

組織の運営
QB1_9 上司の支援
QB1_10 適切なスピードの意思決定

満足
QB11_1 オフィス環境に満足
QB11_2 運用の制度に満足

職場体験 第4章（p.28～42）

業務のしやすさ
QC1_1 集中しやすい
QC1_2 必要な相手とやり取り
QC1_3 情報を得やすい
QC1_4 業務を進めやすい

成長・意味の実感
QC1_5 仕事の意味や価値
QC1_6 学びや気づき
QF4_1 成長できている

組織とのつながり
QG1_1 無理なく関わる
QG1_2 組織・チームの一員
QG1_3 他部署との協業
QG1_4 孤立せずに働ける

その他の体験（3軸に含めない）
QF4_2 協働が活性化
QF4_3 環境や仕組みの支え

成果（本人の意向・実感） 第5章（p.43～47）

QF1_1 働き続けたい
QF1_2 他者に勧めたい
QF1_3 生産的に働けている

気持ち 第6章（p.48～51）
QE1_1 孤独感を感じることがある
QE1_2 幸福感を感じることがある

5段階評価（1～5点）。各項目1ページで設問文と回答分布、各章末にGAP（TOP2%−BOTTOM2%）

前提（回答者と職場） 第1章・第2章（p.7～13）、条件はp.5、属性は参考資料（p.68～70）

条件 SC1・SC2・SC4・F2　立場と勤務先 QA2・QA14・SC5・QA5
地域と拠点 AREA・QA1・QQ1・QA4　職場の形 QQ2・QQ3・QA9・QA12
出社と通勤 QA10・QA11・QA13・QA15　業務の進め方 QA6・QA7・QA8　属性 F1・QAGE・QW4・QW6・SC3・SC6

これからの職場 第7章（p.52～56）

QW1_1・QW1_2 今後重視したい職場環境（3つまで／最も重視）
QW2_1・QW2_2 オフィスに期待する役割（3つまで／最も期待）

設問の名前は本資料での短い呼び方。設問文の全文は各ページに記載。地域（第8章）・オフィスの役割（第9章）は、上の設問をAREA・QQ3で分けて集計した
出典：本調査（n=4,650）

第1章　回答者と勤務先

回答者の立場と勤務先を、1ページ4項目程度で示す。性別・年代などの属性は参考資料

この章の構成

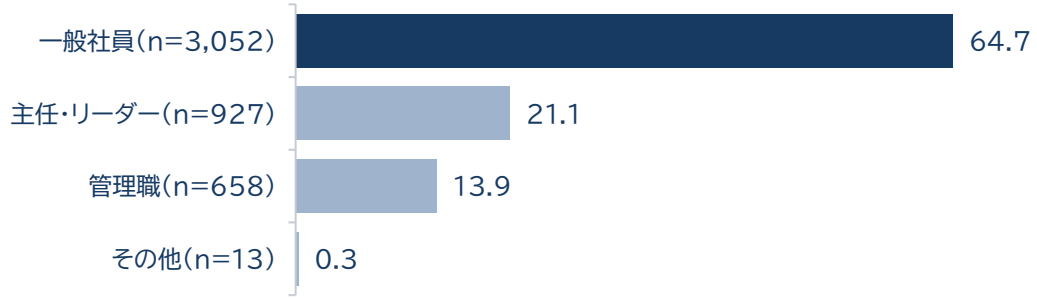
立場と勤務先	職位・勤続年数・従業員規模・創業年数	p.8
地域と拠点	地域・業種・拠点の種別・在籍人数	p.9

一般社員が64.7%、勤続10年以上が50.5%。勤務先は1,000人以上が35.2%

勤務先の創業年数は「50年以上」が40.2%。従業員規模の「1～9人」「わからない」の回答者はいない（集計上の注記1、p.5）

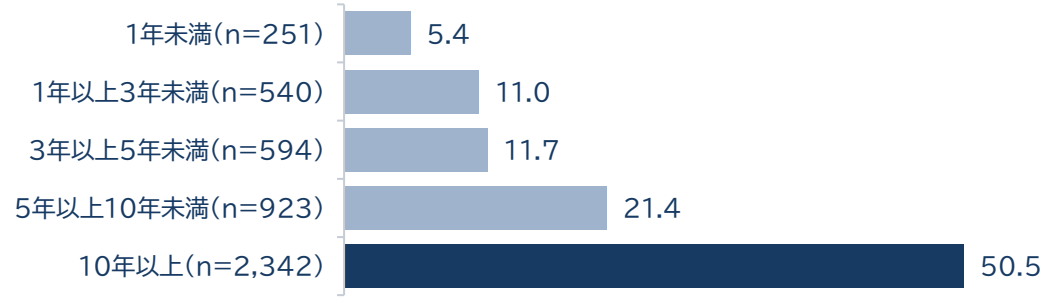
QA2　職位（%、加重値）

設問：あなたの職位は次のどれですか。



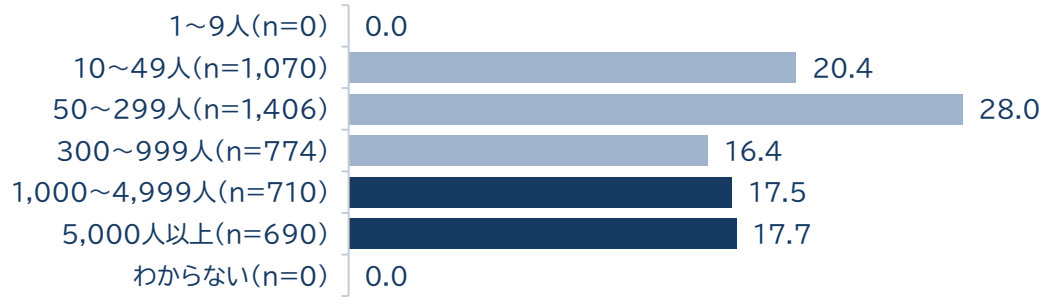
QA14　勤続年数（%、加重値）

設問：あなた自身の勤続年数はどの程度ですか。



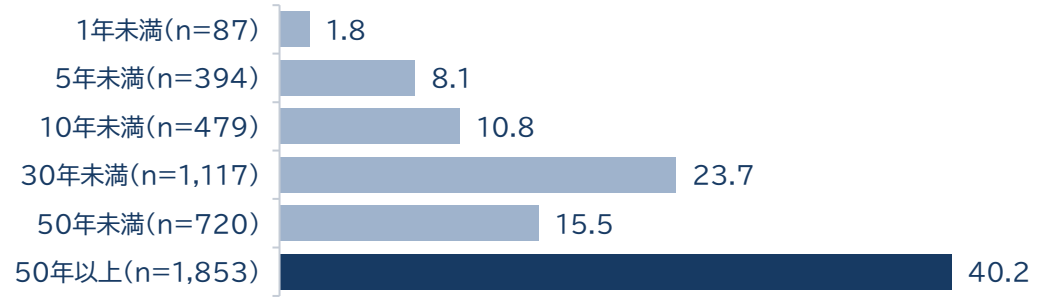
SC5　勤務先の従業員規模（%、加重値）

設問：あなたの勤務先の従業員規模はどれに近いですか。



QA5　勤務先の創業年数（%、加重値）

設問：あなたの勤務先の創業年数はどれに近いですか。



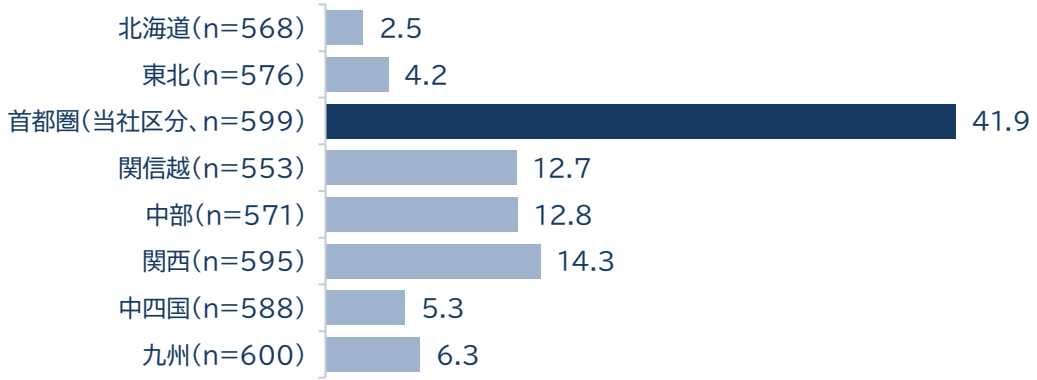
単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。「1,000人以上」は「1,000～4,999人」と「5,000人以上」の計（四捨五入前の値で計算）
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

補正後の構成は首都圏が41.9%。業種は製造23.0%、拠点は本社・本部48.1%

回答は地域ごとに集めたため、回答者数は8地域でほぼ同じ（各553～600人）。%は補正後（加重）の値

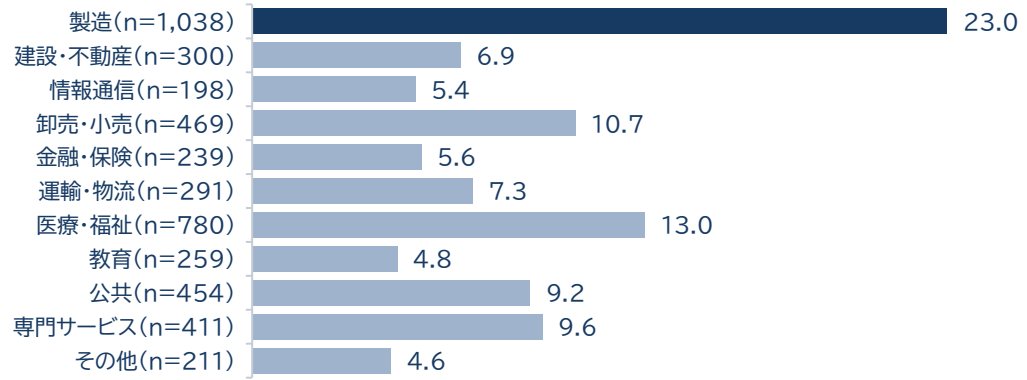
AREA　勤務地の地域（%、加重値）

勤務地の都道府県（SC6）から区分



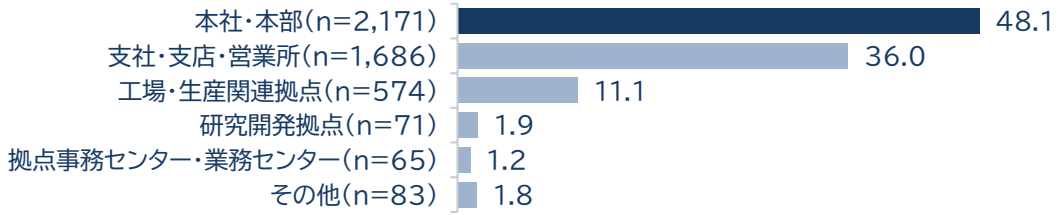
QA1　勤務先の業種（%、加重値）

設問：あなたの勤務先の主な業種はどれですか。



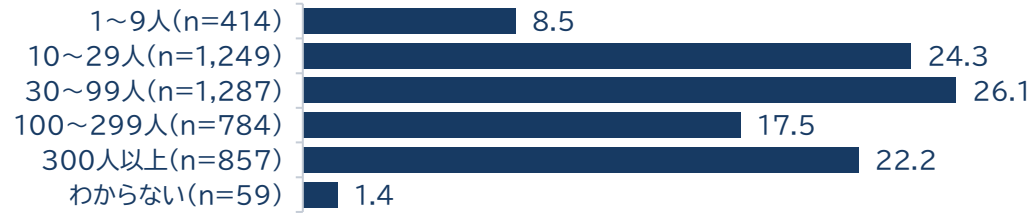
QQ1　勤務する拠点の種別（%、加重値）

設問：あなたが現在主に勤務している拠点種別は、次のどれに最も近いですか。



QA4　オフィスの在籍人数（%、加重値）

設問：あなたが現在主に勤務するオフィスのおおよその在籍人数はどれくらいですか。



単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。地域区分は当社の地域ブロック（首都圏＝埼玉・東京・神奈川・山梨、関信越＝茨城・栃木・群馬・千葉・新潟・長野）。都道府県別・職種は参考資料
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

PART 1｜回答者と職場のすがた

第2章　職場と働き方

勤務する職場の形と、出社・通勤・業務の進め方を、1ページ4項目程度で示す

この章の構成

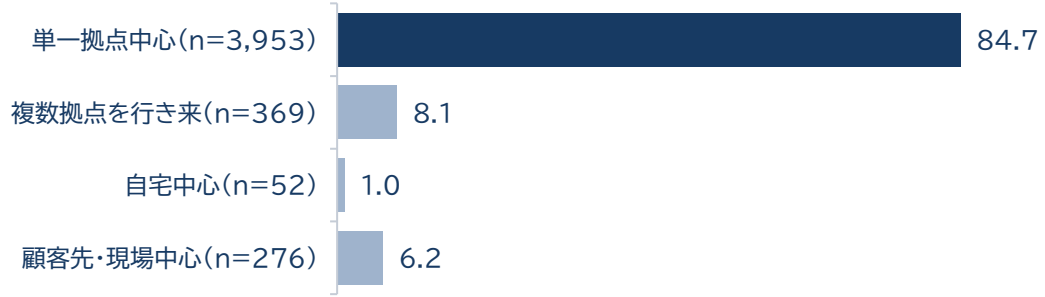
職場の形	勤務形態・オフィスの役割・席の運用・よく使う席	p.11
出社と通勤	働き方制度・出社日数・希望との近さ・通勤時間	p.12
業務の進め方	業務の特性・他部署との連携・定型／非定型	p.13

勤務形態は単一拠点中心が84.7%、席の運用は固定席（自席中心）が74.3%

オフィスの役割は「つくる」「売る」「ささえる」が各21～22%。最もよく利用する席・場所は「固定席・自席」が78.1%

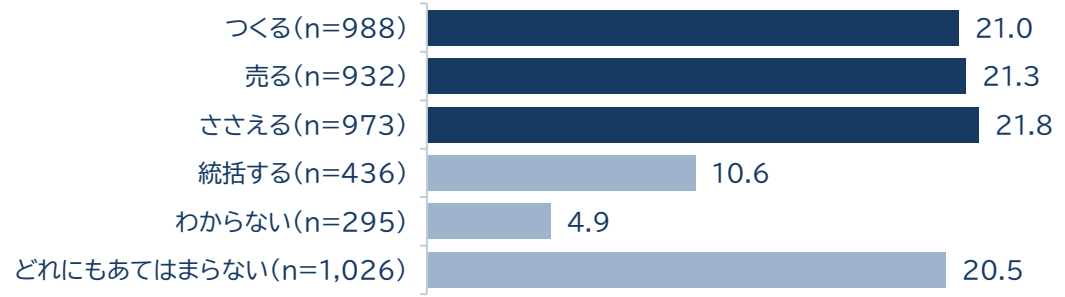
QQ2　勤務形態（%、加重値）

設問：あなたの現在の勤務形態として最も近いものをお選びください。



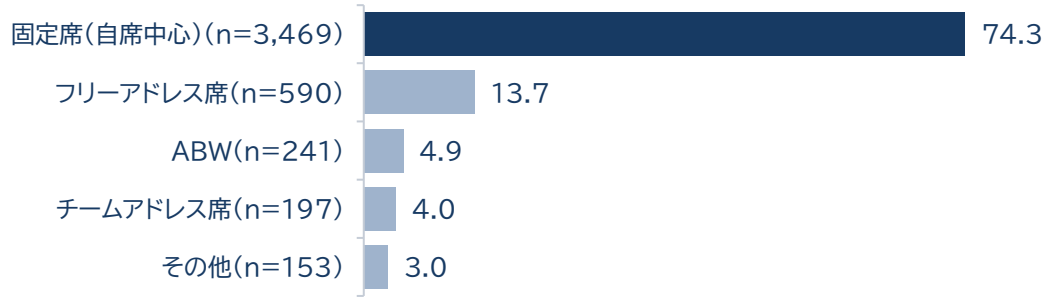
QQ3　オフィスの役割（%、加重値）

設問：あなたが主に所属する拠点・組織が、企業全体の中で担っている「役割」は、次のどれに最も近いですか。（選択肢の説明画像あり）



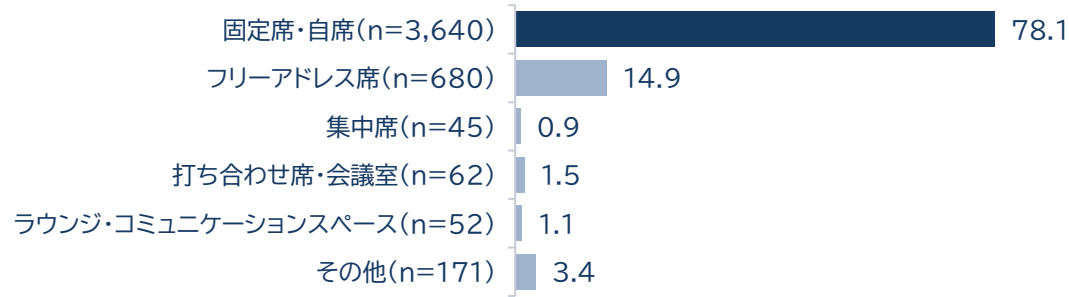
QA9　席の運用（%、加重値）

設問：あなたが現在主に勤務している職場の基本的な席運用はどれに最も近いですか。



QA12　最もよく利用する席・場所（%、加重値）

設問：あなたが現在主に勤務しているオフィスで、オフィス勤務時に最もよく利用する席・場所はどれですか。



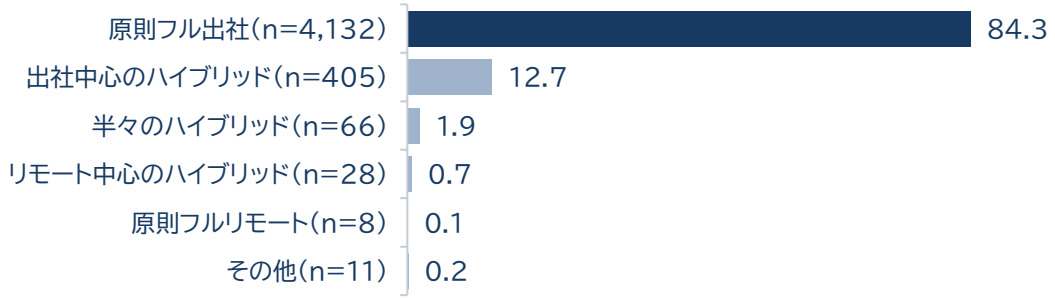
単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。QQ3の項目名は「オフィスの役割」の区分名で表記（調査票の選択肢は「つくる拠点」など、説明画像を添えて回答）
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

対象者の原則フル出社は84.3%、出社は週5日以上が86.5%

働き方が希望に近い人（「非常に」「やや」の計）は29.9%。片道通勤時間は30分未満が42.1%、60分以上が22.0%

QA10　働き方制度（%、加重値）

設問：あなたが現在主に勤務している職場の基本的な働き方制度はどれに最も近いですか。



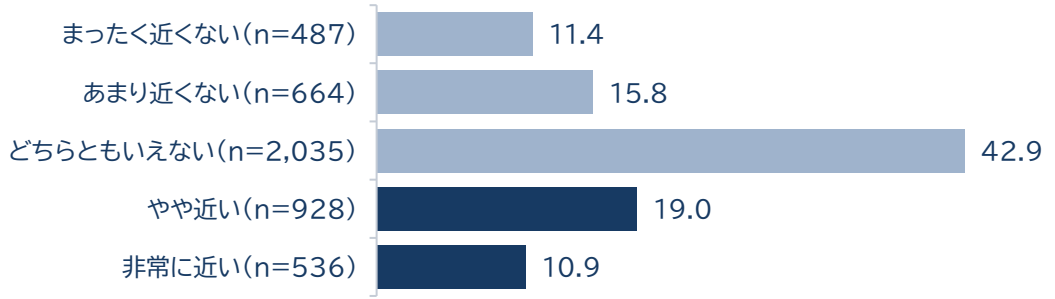
QA11　出社日数（直近1か月）（%、加重値）

設問：通常の勤務時、あなた自身の直近1か月の平均的なオフィスへの出社日数はどの程度ですか。



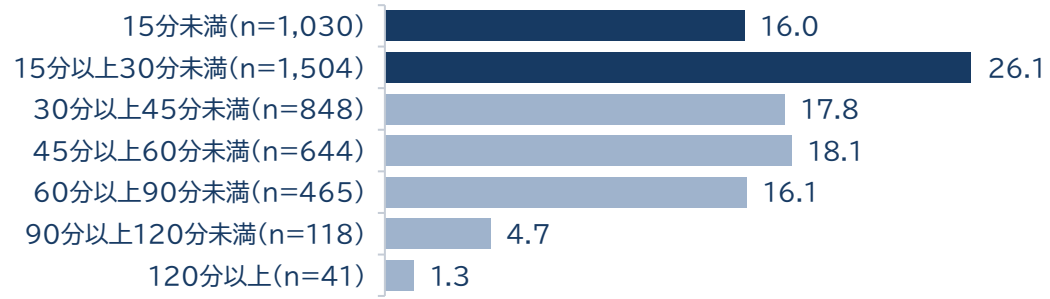
QA13　働き方の希望との近さ（%、加重値）

設問：あなた自身の現在のオフィスでの席の運用（固定席・フリーアドレス）やオフィスへの出社日数やリモートワークといった働き方は、自分の希望にどの程度近いですか。



QA15　片道通勤時間（%、加重値）

設問：あなた自身の通常の出社日に、自宅から主な勤務地までの片道通勤時間はどの程度ですか。（通勤手段は問いません。）



単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。対象は本調査の対象者（p.5）で、就業者全体の比率ではない。合算値は四捨五入前の値で計算
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

1人で進める業務が多い人は50.7%、定型業務が中心の人は57.3%

他部署との連携は「ほぼ毎日」26.6%、「ほとんどない」24.8%。「多い」「やや多い」などの計は四捨五入前の値で計算

QA6　業務の特性（1人／他者と）（%、加重値）

設問：あなたの主な業務特性として最も近いものをお選びください。



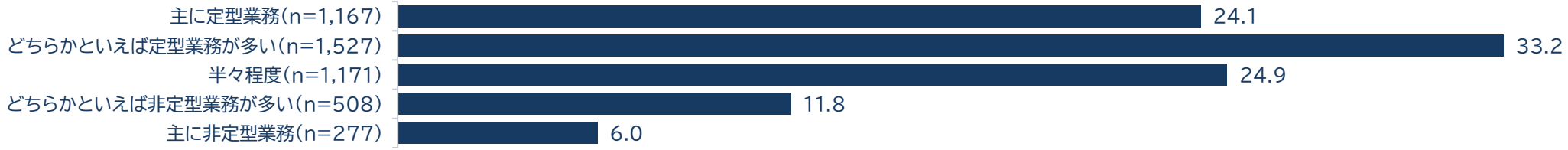
QA7　他部署との連携頻度（%、加重値）

設問：あなた自身の通常の業務における、他部署との連携頻度はどの程度ですか。



QA8　業務の進め方（定型／非定型）（%、加重値）

設問：あなた自身の主な業務の進め方として最も近いものをお選びください。



単位：%。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

第3章　オフィス環境・運営

物理的なオフィス環境と、その運営（働き方の運用・組織の運営）の評価。1項目1ページで設問文と回答の分布を示す

オフィス環境・運営 → **職場体験** → **成果**

調査の枠組み（p.3）

この章の構成

物理環境	集中・音や視線・相談・会議・IT（QB1_1～5）	p.15～19
働き方の運用	対面とリモート・出社ルール・場所選択（QB1_6～8）	p.20～22
組織の運営	上司の支援・適切なスピードの意思決定（QB1_9・10）	p.23～24
満足	オフィス環境・運用の制度への満足（QB11_1・2）	p.25～26
まとめ	GAP（TOP2%−BOTTOM2%）の上位・下位と考察	p.27

集中できる場所｜TOP2%は38.0%、BOTTOM2%は28.2%

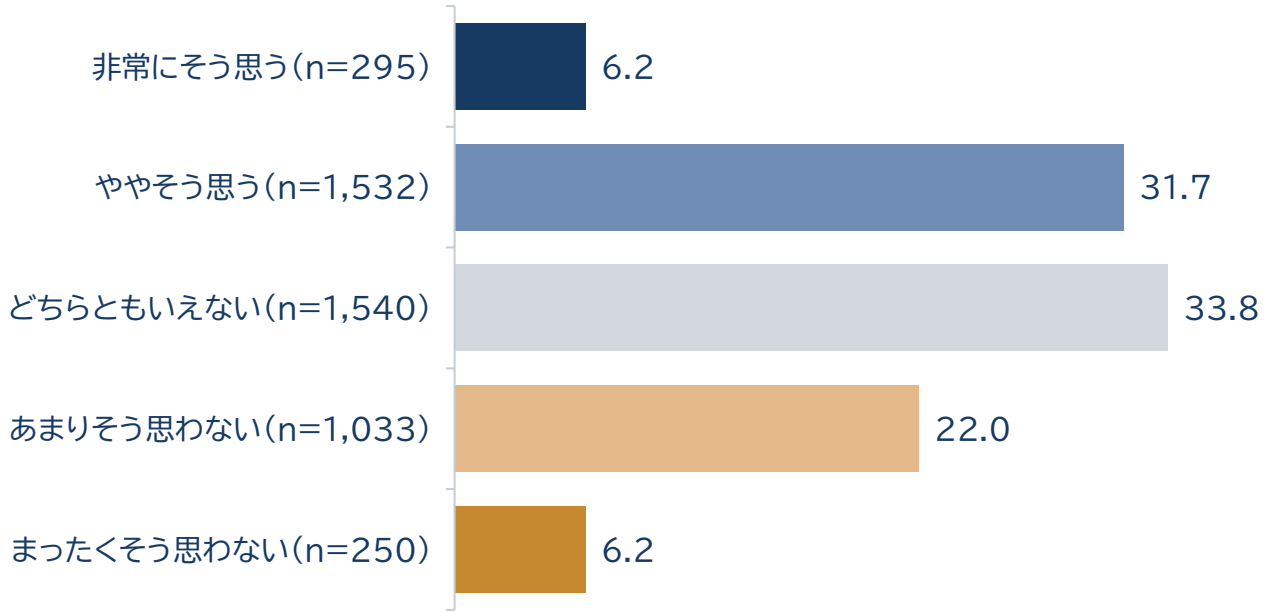
設問 QB1_1

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場には、集中して作業できる場所が十分にある

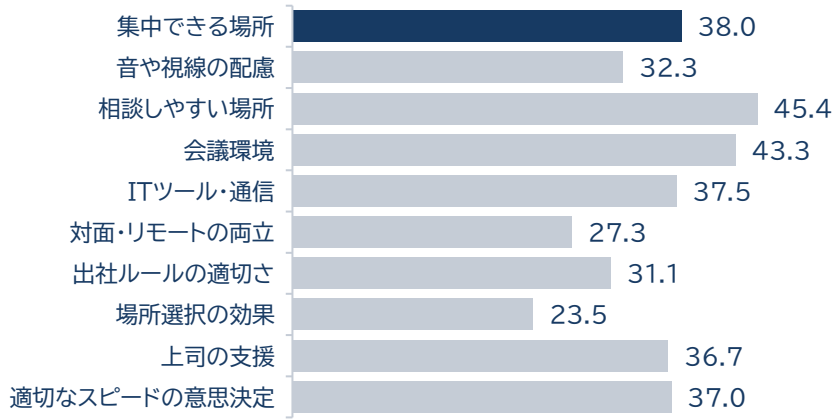
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
38.0	28.2	3.10
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_1は「物理環境」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

音や視線の配慮｜TOP2%は32.3%、BOTTOM2%は31.0%

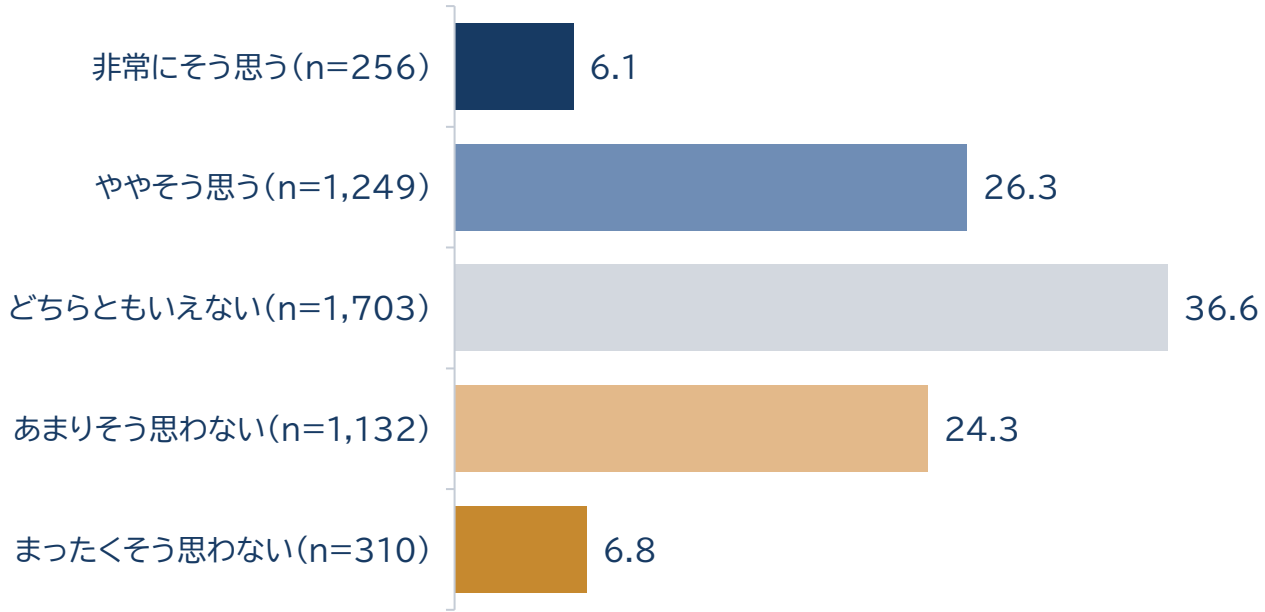
設問 QB1_2

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、周囲の音や視線が業務の妨げになりにくい

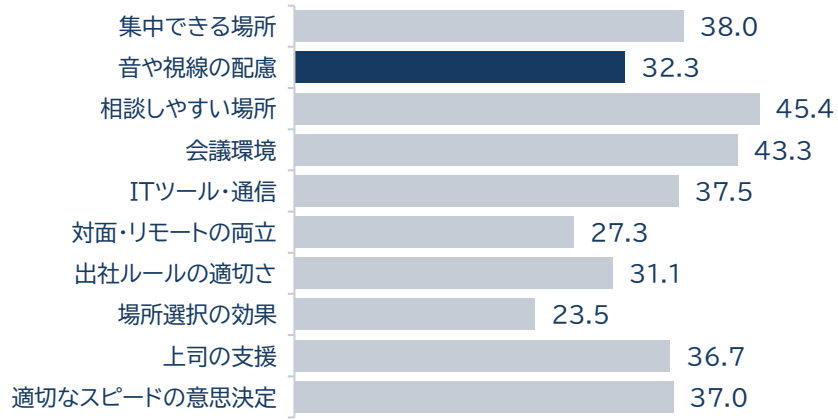
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
32.3	31.0	3.01
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_2は「物理環境」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

相談しやすい場所｜TOP2%は45.4%、BOTTOM2%は24.5%

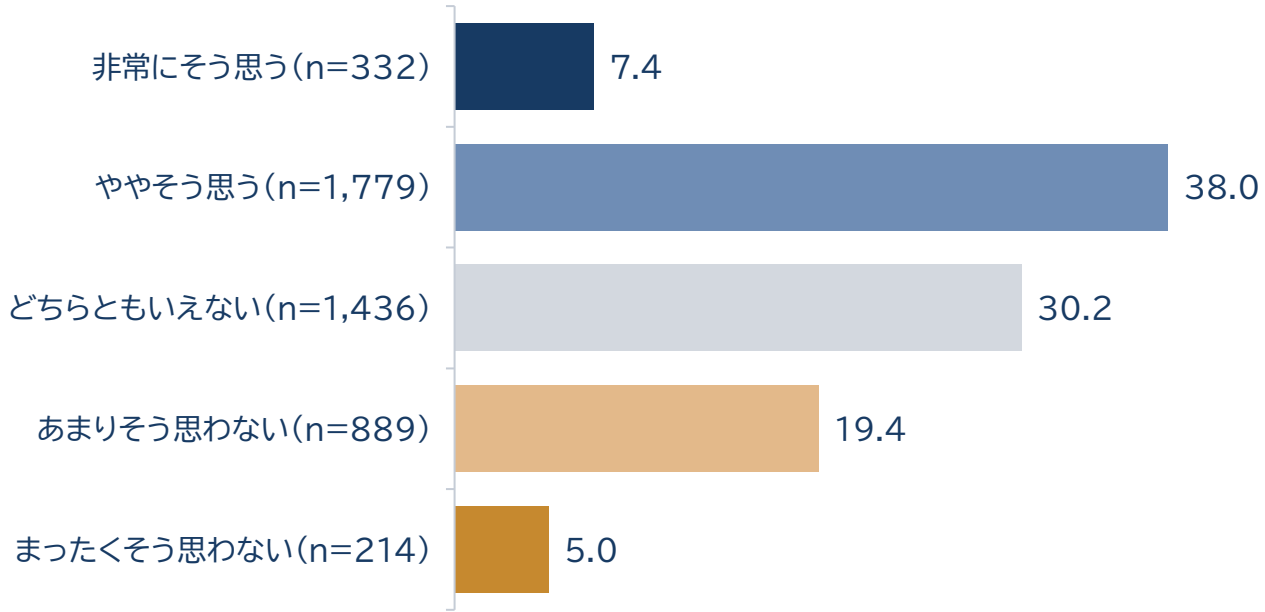
設問 QB1_3

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場には、気軽な相談や短い打合せがしやすい場所がある

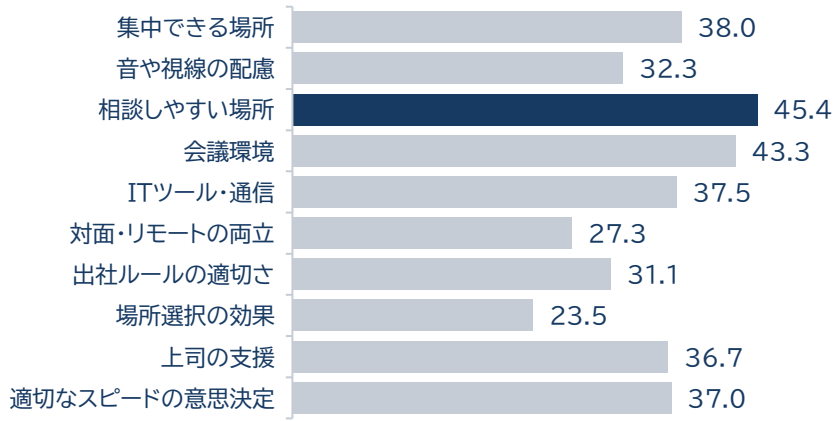
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
45.4	24.5	3.23
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_3は「物理環境」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

会議環境｜TOP2%は43.3%、BOTTOM2%は24.7%

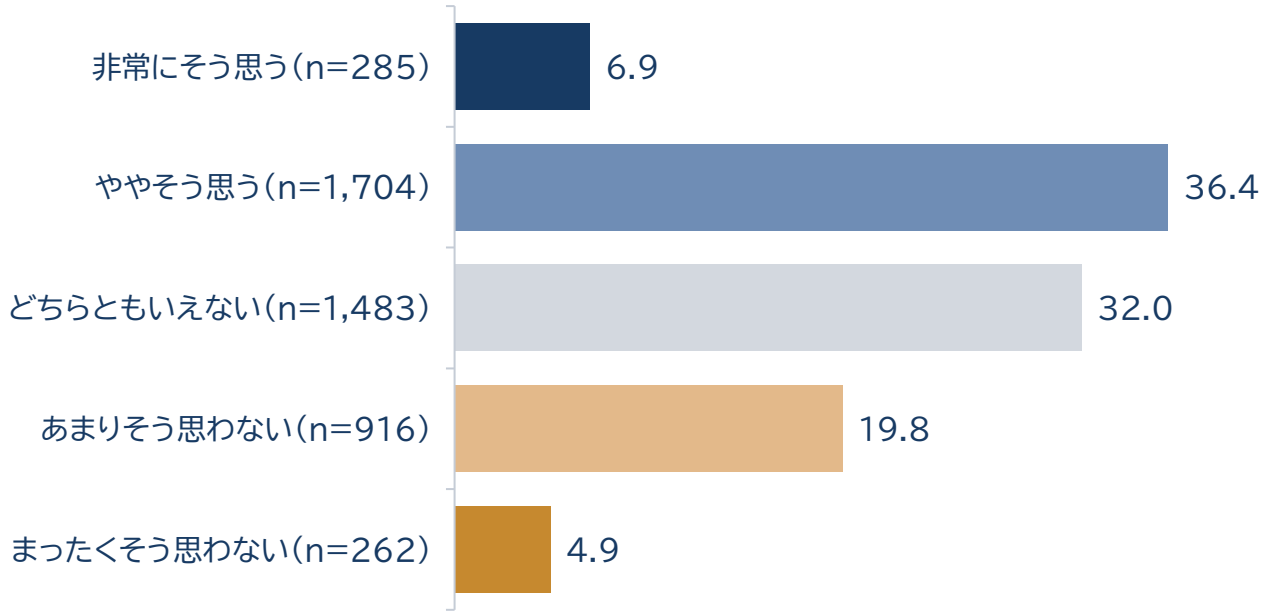
設問 QB1_4

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、会議や打合せを円滑に行える環境が整っている

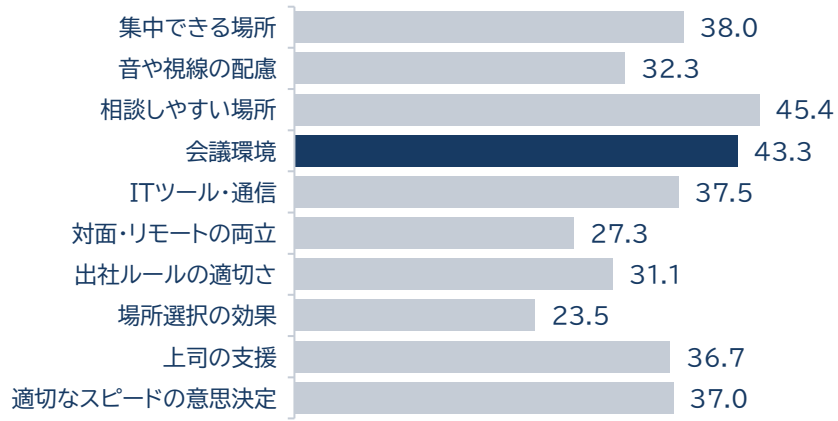
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
43.3	24.7	3.21
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_4は「物理環境」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

ITツール・通信｜TOP2%は37.5%、BOTTOM2%は26.3%

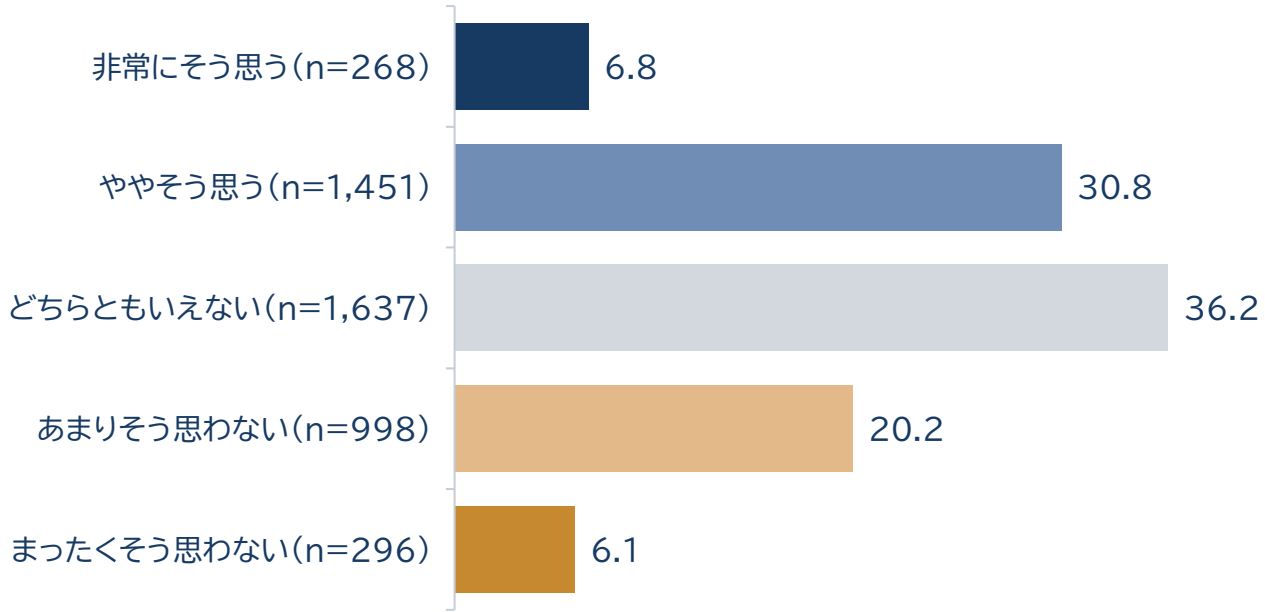
設問 QB1_5

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、業務に必要なITツール・通信環境が十分に整っている

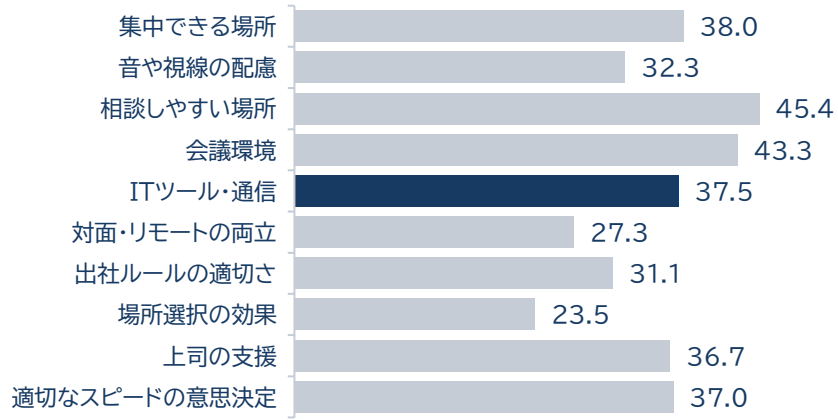
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
37.5	26.3	3.12
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_5は「物理環境」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

対面・リモートの両立｜TOP2%は27.3%、BOTTOM2%は43.0%

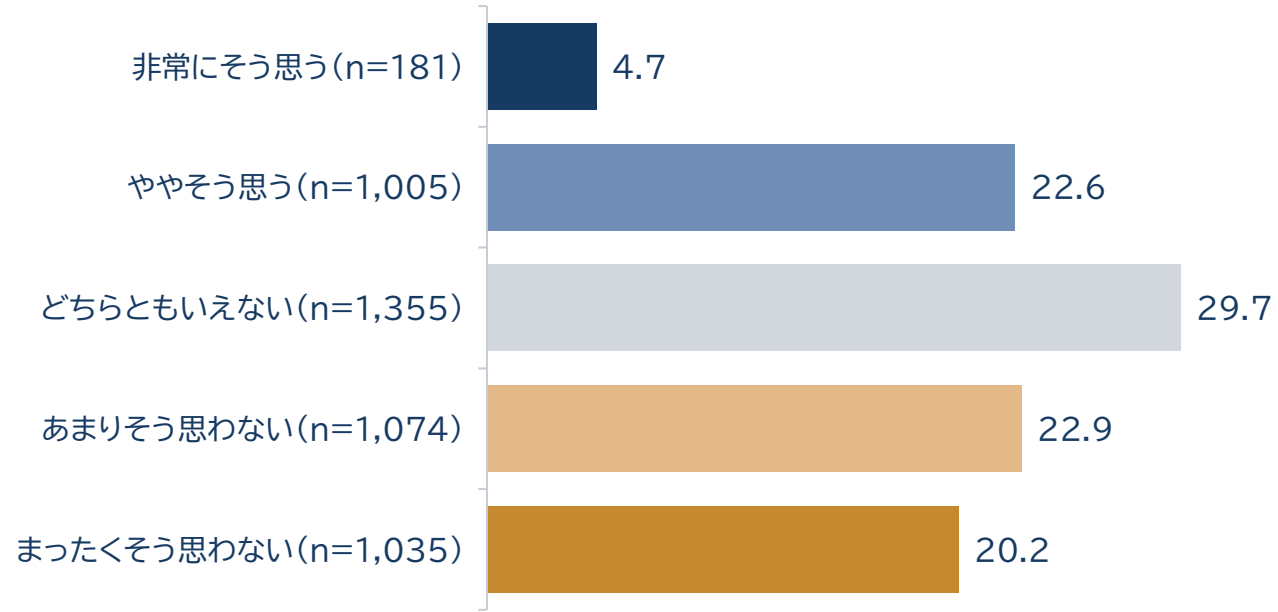
設問 QB1_6

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、対面・リモートどちらでも業務を進めやすい環境である

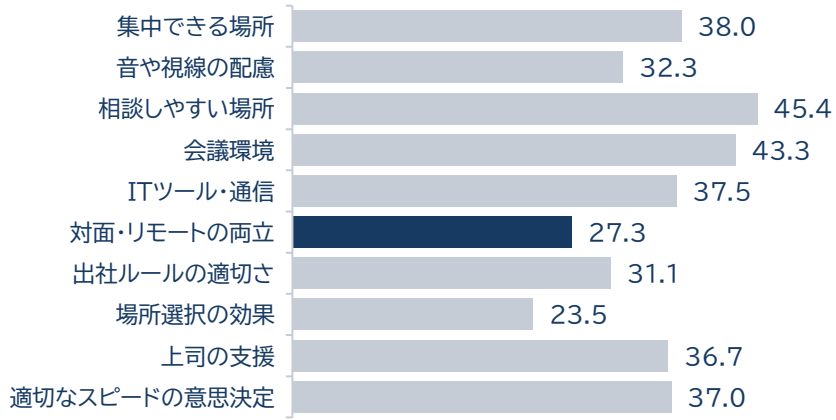
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
27.3	43.0	2.69
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_6は「働き方の運用」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

出社ルールの適切さ｜TOP2%は31.1%、BOTTOM2%は33.5%

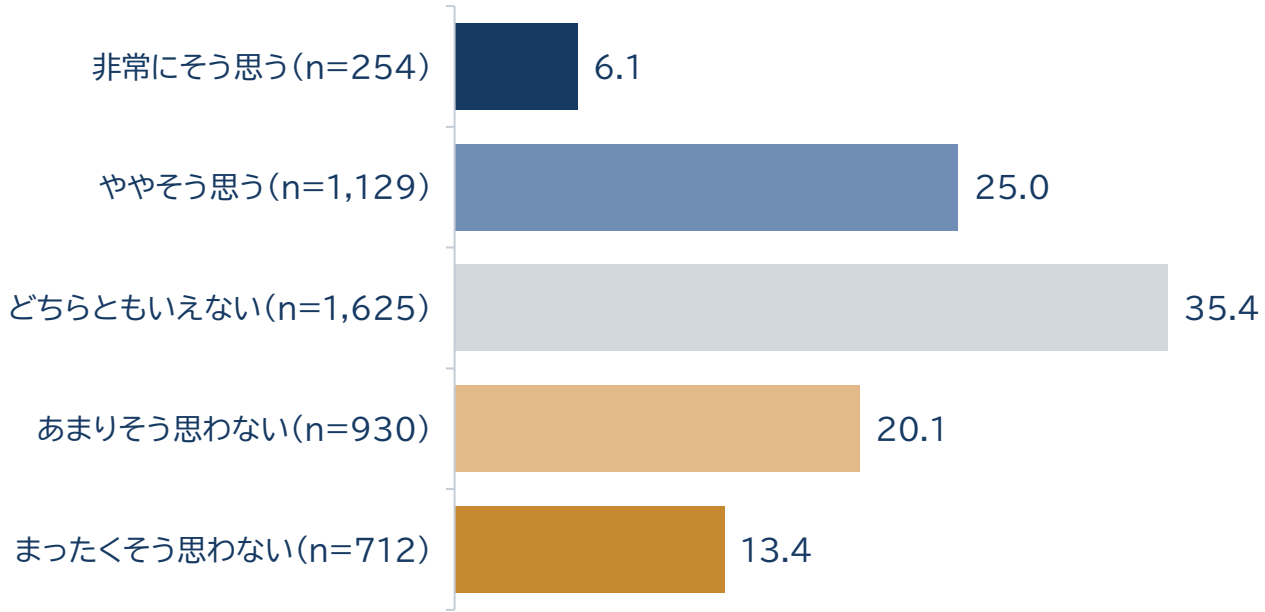
設問 QB1_7

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、出社・リモートに関するルールが業務に適している

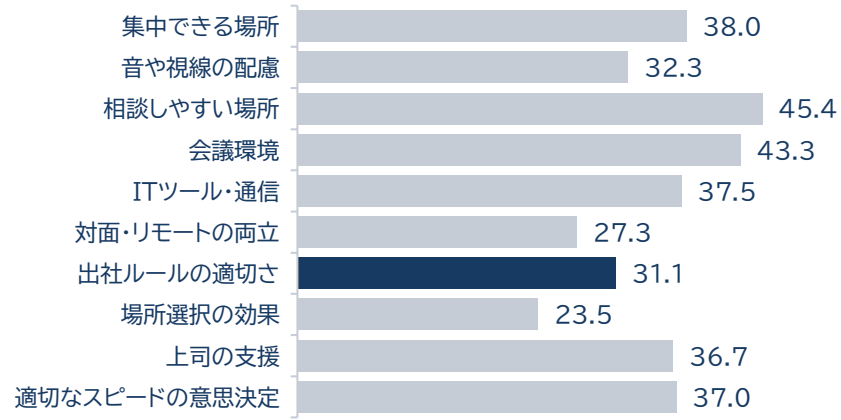
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
31.1	33.5	2.90
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_7は「働き方の運用」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

場所選択の効果｜TOP2%は23.5%、BOTTOM2%は36.9%

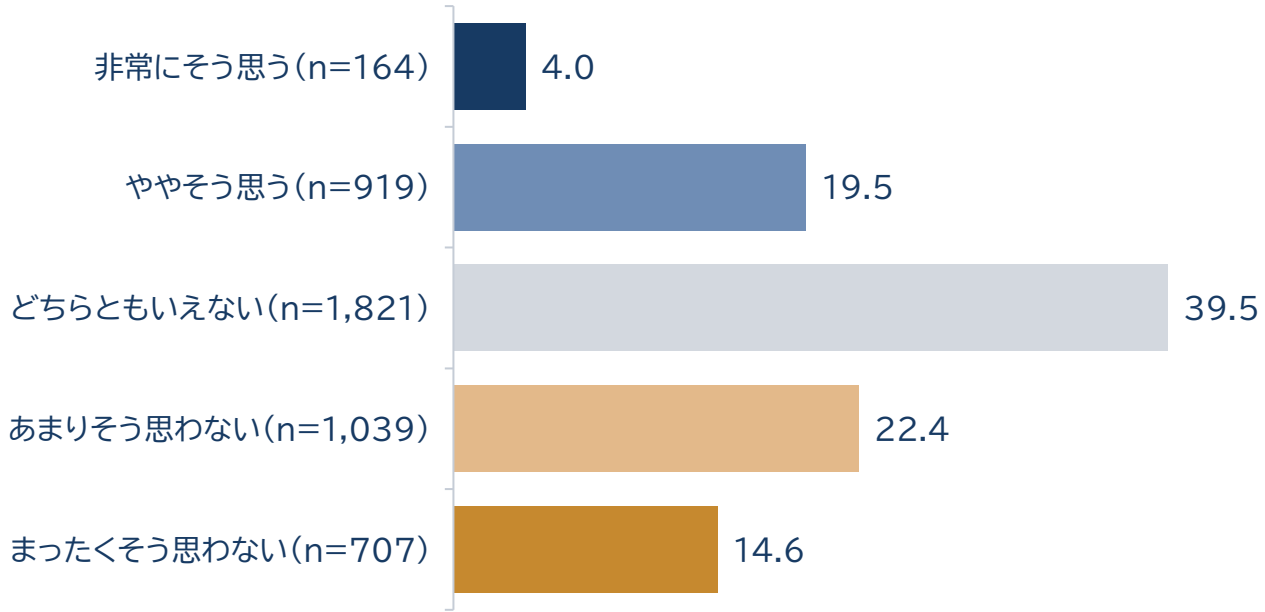
設問 QB1_8

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、働く場所を選べることが業務効率の向上につながっている

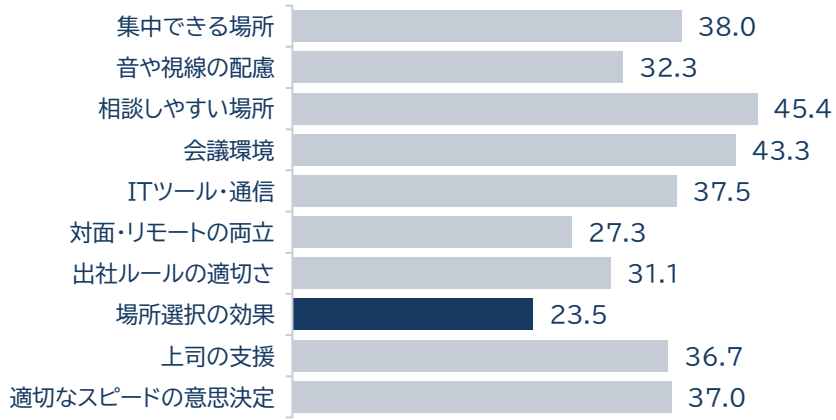
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
23.5	36.9	2.76
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_8は「働き方の運用」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

上司の支援｜TOP2%は36.7%、BOTTOM2%は26.1%

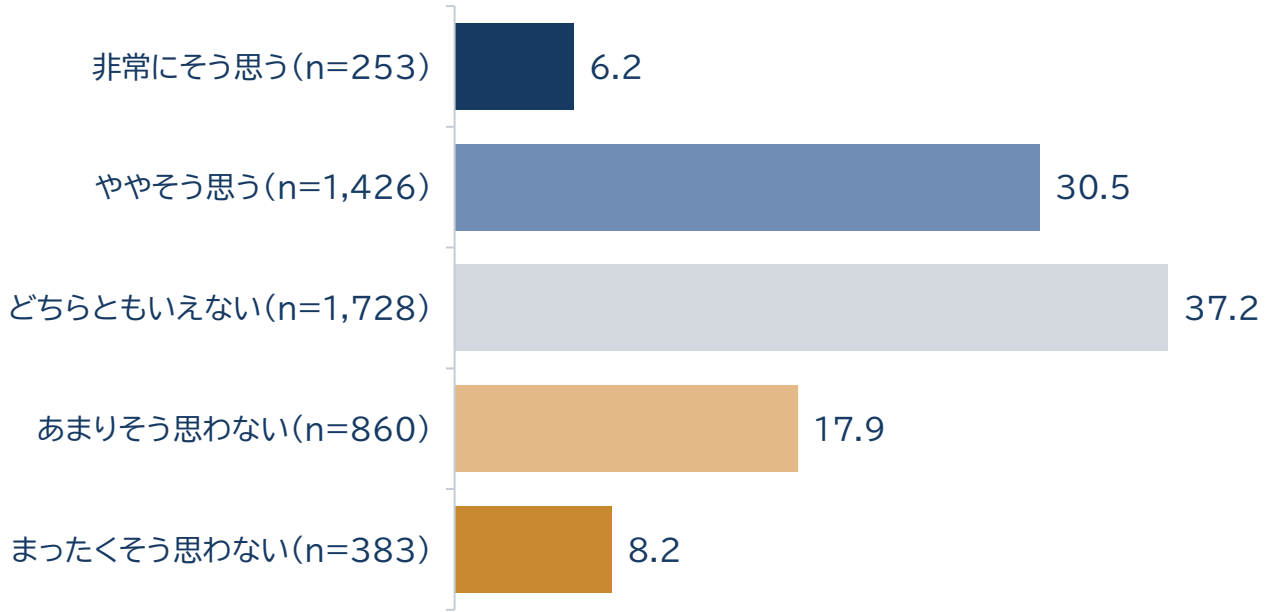
設問 QB1_9

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、上司が業務の進行を適切に支援している

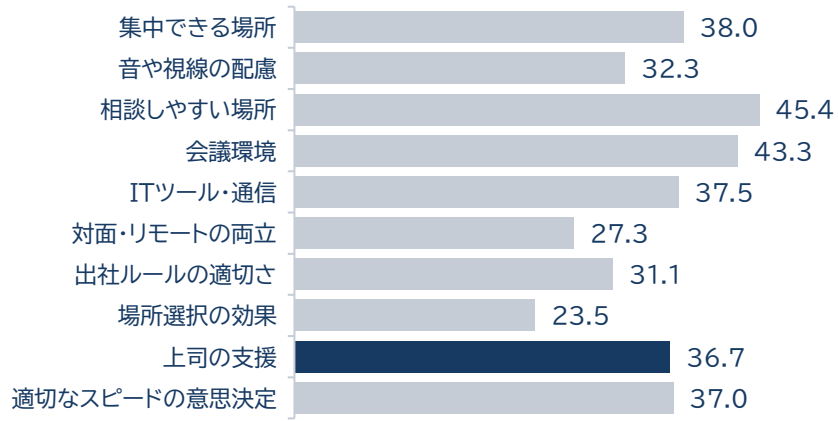
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
36.7	26.1	3.08
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_9は「組織の運営」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

適切なスピードの意思決定｜TOP2%は37.0%、BOTTOM2%は23.7%

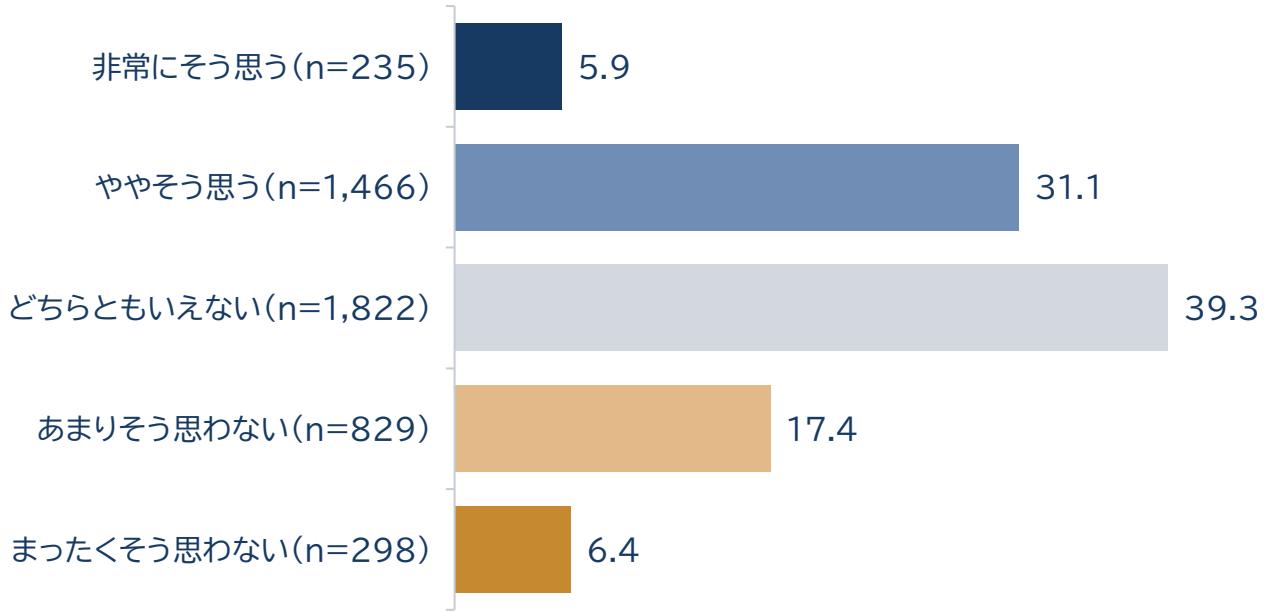
設問 QB1_10

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場では、業務上の意思決定が適切なスピードで行われている

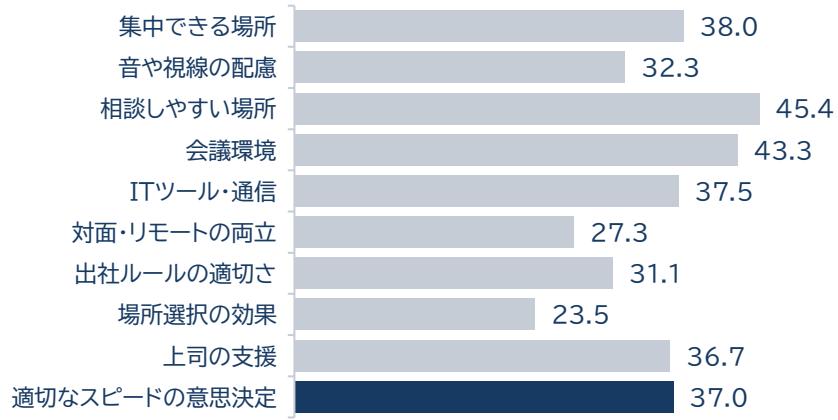
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
37.0	23.7	3.13
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QB1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。QB1_10は「組織の運営」の項目（物理環境＝QB1_1～5、働き方の運用＝QB1_6～8、組織の運営＝QB1_9・10）

オフィス環境に満足｜TOP2%は39.4%、BOTTOM2%は28.8%

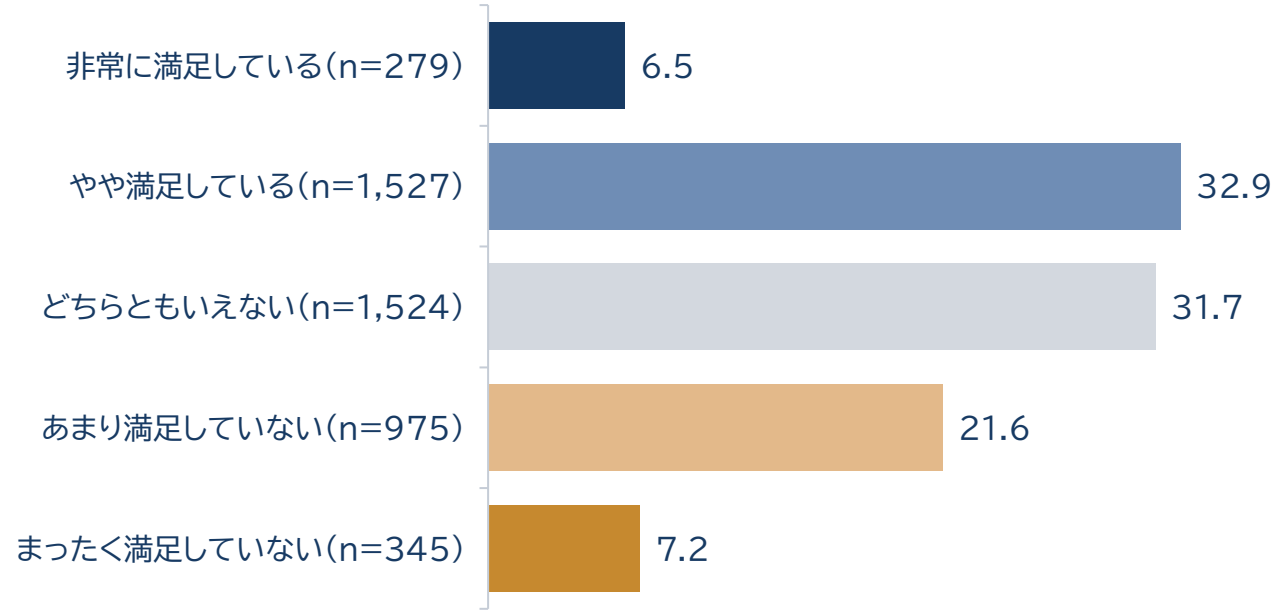
設問 QB11_1

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場のオフィス環境に満足している

「非常に満足している」～「まったく満足していない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
39.4	28.8	3.10
「非常に満足している」「やや満足している」の計	「まったく満足していない」「あまり満足していない」の計	1～5点の加重平均

QB11の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常に満足している」「やや満足している」の計、BOTTOM2%＝「まったく満足していない」「あまり満足していない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目

運用の制度に満足｜TOP2%は36.6%、BOTTOM2%は28.7%

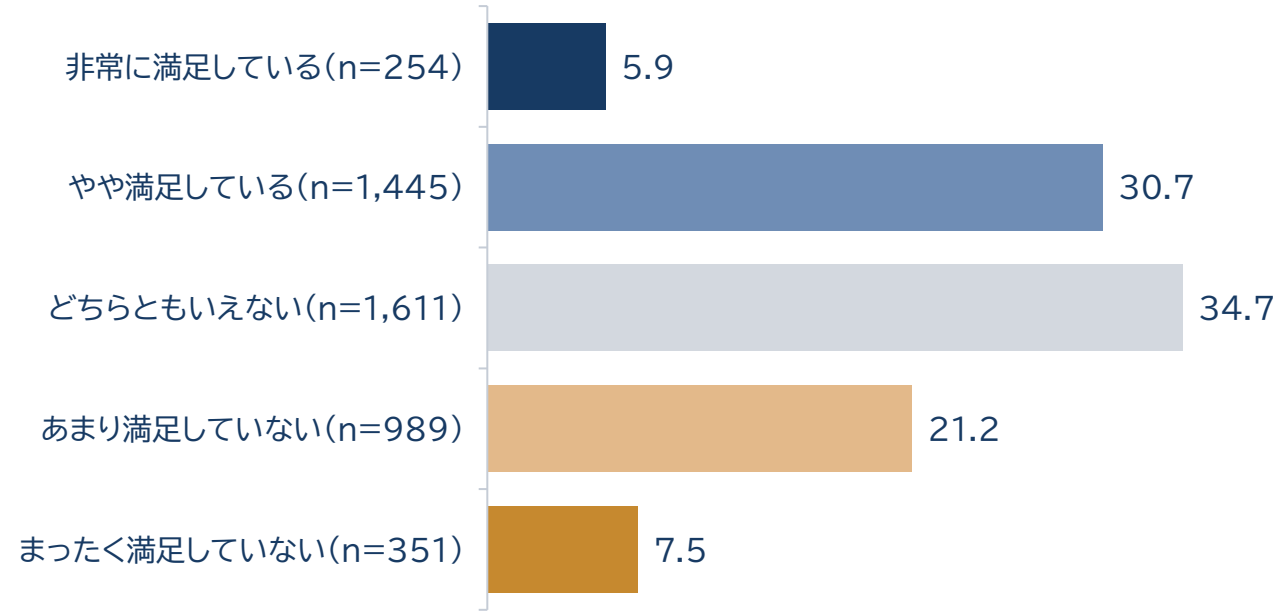
設問 QB11_2

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

現在主に勤務している職場のオフィス運用の制度に満足している

「非常に満足している」～「まったく満足していない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
36.6	28.7	3.06
「非常に満足している」「やや満足している」の計	「まったく満足していない」「あまり満足していない」の計	1～5点の加重平均

QB11の各項目のTOP2%（%）

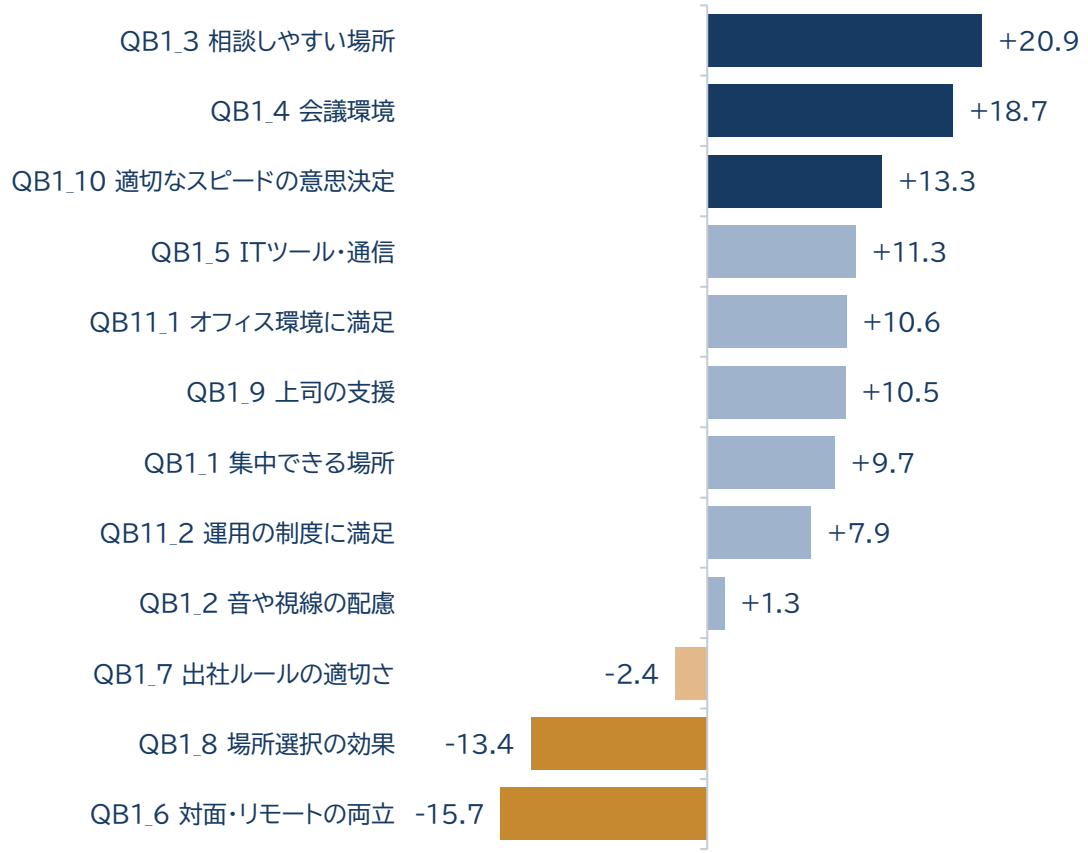


単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常に満足している」「やや満足している」の計、BOTTOM2%＝「まったく満足していない」「あまり満足していない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目

肯定が大きく上回るのは相談・会議の場。リモート・場所選択の2項目は否定が上回る

各項目のGAP(ポイント)

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%。濃い色＝右で取り上げた項目



1. **QB1_3 相談しやすい場所 +20.9** (TOP2 45.4%／BOTTOM2 24.5%／中間 30.2%)
   事実:物理環境5項目で最大。会議環境(QB1_4)も同じ傾向で、対面で相談・打合せをする場の評価は肯定が上回る。原則フル出社以外の人の方がGAPは大きい(+39.8、原則フル出社+17.4、p.66)
   仮説:相談・打合せの場が日常的に使われていることが評価に表れている可能性

2. **QB1_4 会議環境 +18.7** (TOP2 43.3%／BOTTOM2 24.7%／中間 32.0%)
   事実:TOP2%は43.3%で、物理環境では相談しやすい場所に次ぐ。一方、音や視線の配慮(QB1_2)は+1.3で拮抗

3. **QB1_10 適切なスピードの意思決定 +13.3** (TOP2 37.0%／BOTTOM2 23.7%／中間 39.3%)
   事実:運営5項目(働き方の運用・組織の運営)で最大。原則フル出社の人は+10.8、それ以外の人は+26.4。「意思決定が適切なスピードで行われている」に肯定した人(TOP2、n=1,701)の71.4%、否定した人(BOTTOM2、n=1,127)の23.5%が「働き続けたい」(加重値。一時点の比較で、因果関係を示すものではない)

4. **QB1_8 場所選択の効果 −13.4** (TOP2 23.5%／BOTTOM2 36.9%／中間 39.5%)
   事実:原則フル出社の人は−20.2(TOP2 20.4%／BOTTOM2 40.5%)、それ以外の人は+22.9で、向きが逆になる

5. **QB1_6 対面・リモートの両立 −15.7** (TOP2 27.3%／BOTTOM2 43.0%／中間 29.7%)
   事実:原則フル出社の人は−23.9(23.0%／46.9%)、それ以外の人は+28.2(50.3%／22.1%)。出社ルールの適切さ(QB1_7)は−2.4で拮抗だが、原則フル出社の人は−8.5、それ以外の人は+30.4で、QB1_6と同じ向き
   仮説:リモートや場所を選ぶ仕組みがない職場では「そう思わない」と答えやすく、否定の多さは不満というより選択肢がないことを表している可能性

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%(ポイント、加重値。四捨五入前の値で計算)。中間＝「どちらともいえない」。事実＝本調査のデータで確認できること、仮説＝データで確かめていない解釈。一時点の調査で、統計的な関係(傾向)を示すもの。原則フル出社の人n=4,132、それ以外の人n=518(QA10)。|GAP|が3未満の項目は肯定と否定が拮抗しているとみる(誤差の目安±3ポイント程度)

第4章　職場体験

働く人が日々の職場で得ている体験。本調査では「業務のしやすさ」「成長・意味の実感」「組織とのつながり」の3軸でとらえた（p.5）

オフィス環境・運営 → **職場体験** → 成果

調査の枠組み（p.3）

この章の構成

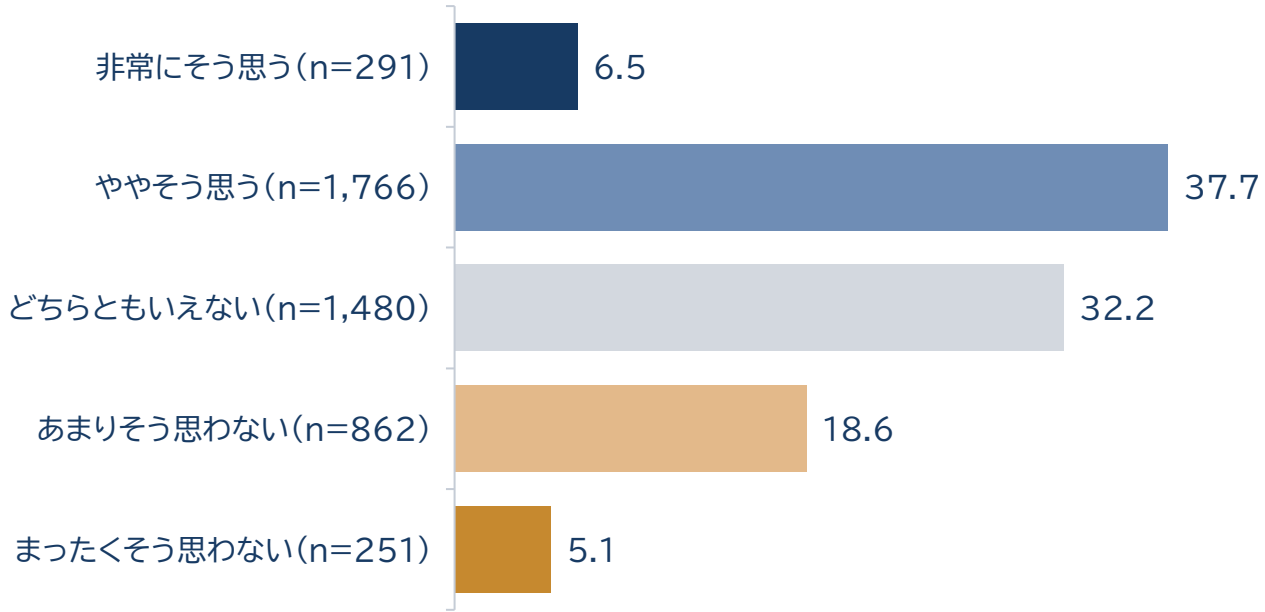
業務のしやすさ	集中・やり取り・情報・業務の進めやすさ（QC1_1～4）	p.29～32
成長・意味の実感	仕事の意味や価値・学びや気づき（QC1_5・6）、成長（QF4_1）	p.33・34・39
組織とのつながり	無理なく関わる・チームの一員・他部署との協業・孤立しない（QG1_1～4）	p.35～38
その他の体験	協働の活性化・環境や仕組みの支え（QF4_2・3、3軸に含めない）	p.40～41
まとめ	GAP（TOP2%－BOTTOM2%）の上位・下位と考察	p.42

集中しやすい｜TOP2%は44.1%、BOTTOM2%は23.7%

設問 QC1_1

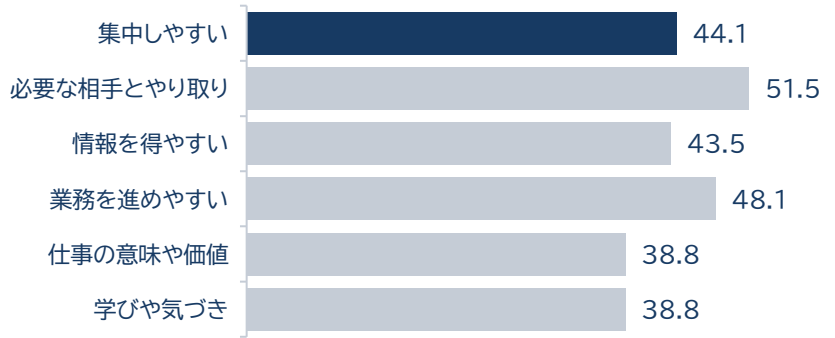
現在主に勤務している職場についてお伺いします。
この職場では、自分の仕事に集中しやすい
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
44.1	23.7	3.22
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「業務のしやすさ」の項目（p.5）

必要な相手とやり取り｜TOP2%は51.5%、BOTTOM2%は19.0%

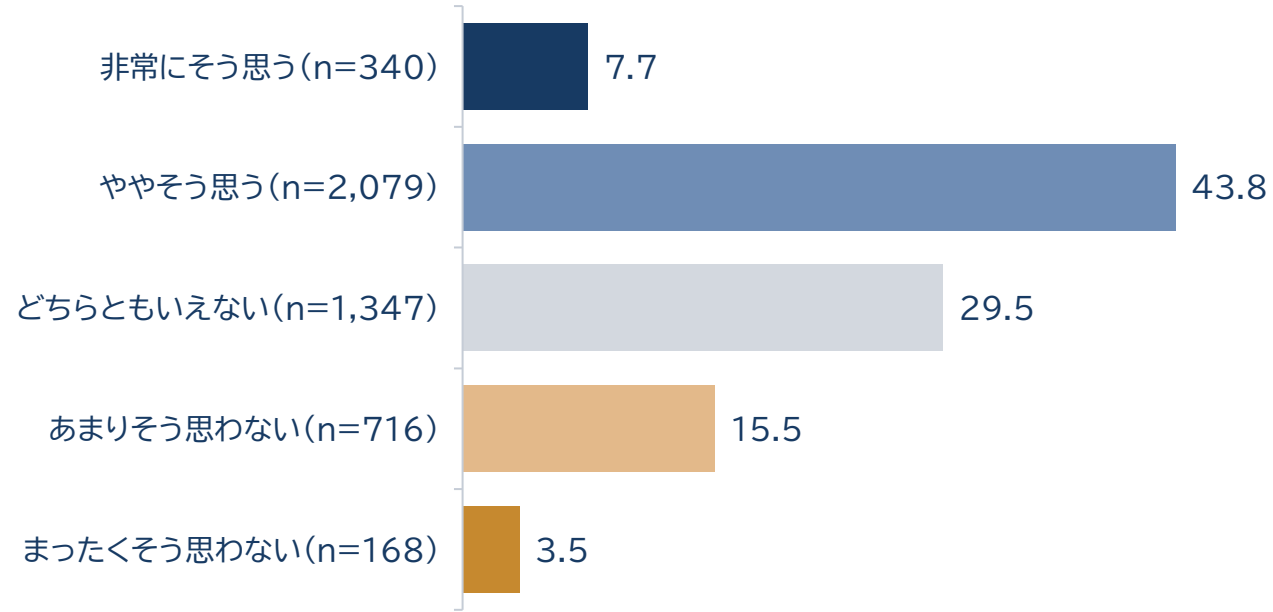
設問 QC1_2

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、業務に必要な相手と適切にやり取りできる

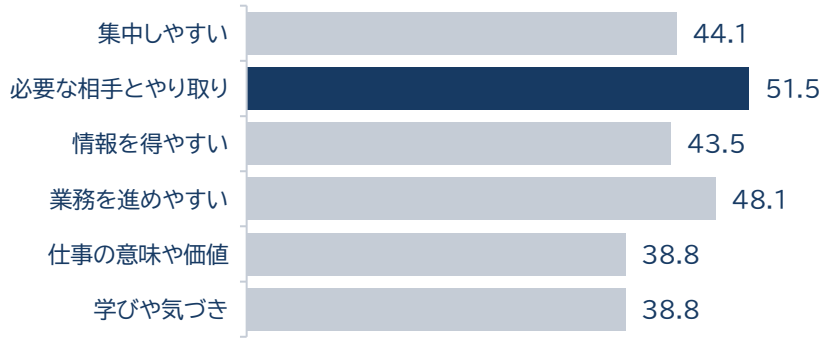
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
51.5	19.0	3.37
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「業務のしやすさ」の項目（p.5）

情報を得やすい｜TOP2%は43.5%、BOTTOM2%は22.0%

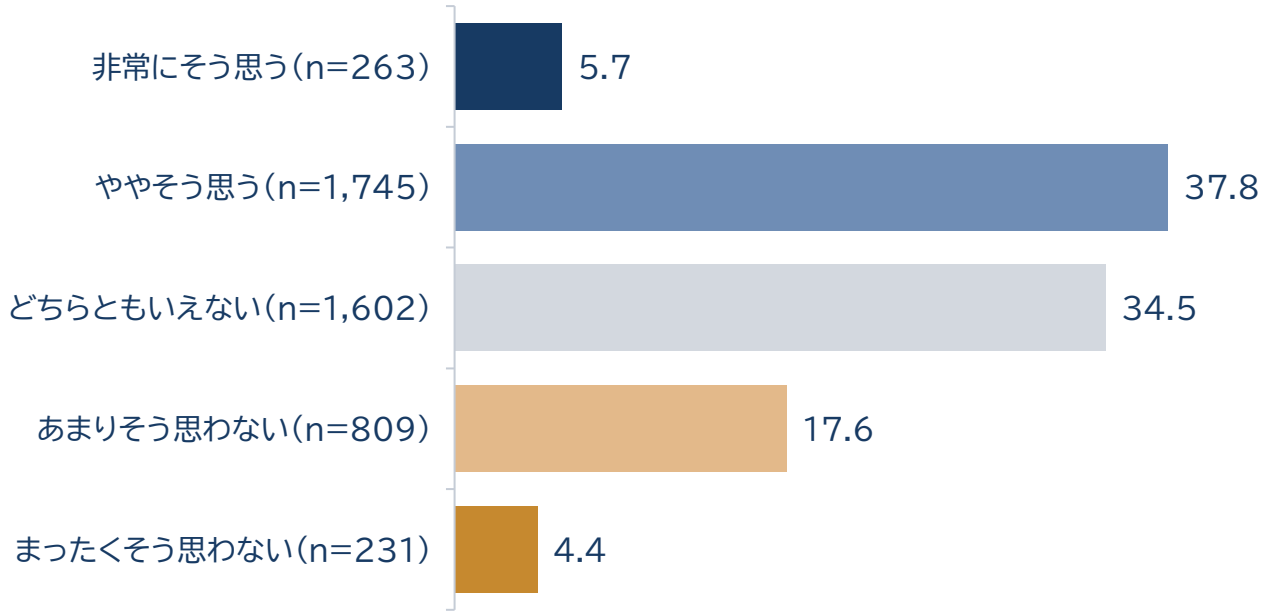
設問 QC1_3

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、必要な情報を必要なタイミングで得やすい

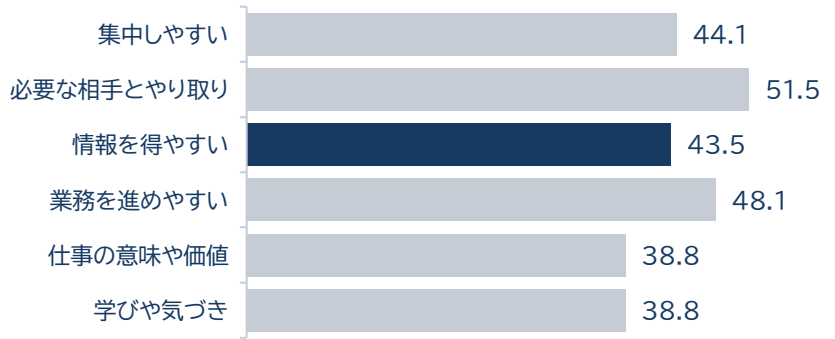
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
43.5	22.0	3.23
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「業務のしやすさ」の項目（p.5）

業務を進めやすい｜TOP2%は48.1%、BOTTOM2%は17.7%

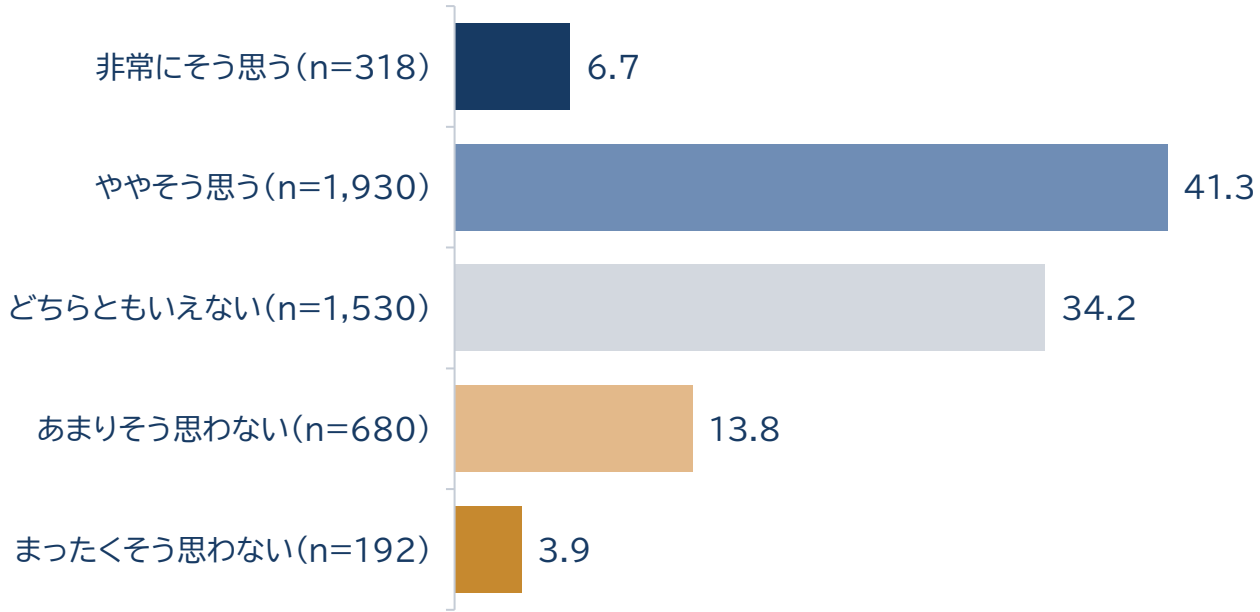
設問 QC1_4

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、日々の業務を滞りなく進めやすい

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
48.1	17.7	3.33
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「業務のしやすさ」の項目（p.5）

仕事の意味や価値｜TOP2%は38.8%、BOTTOM2%は25.5%

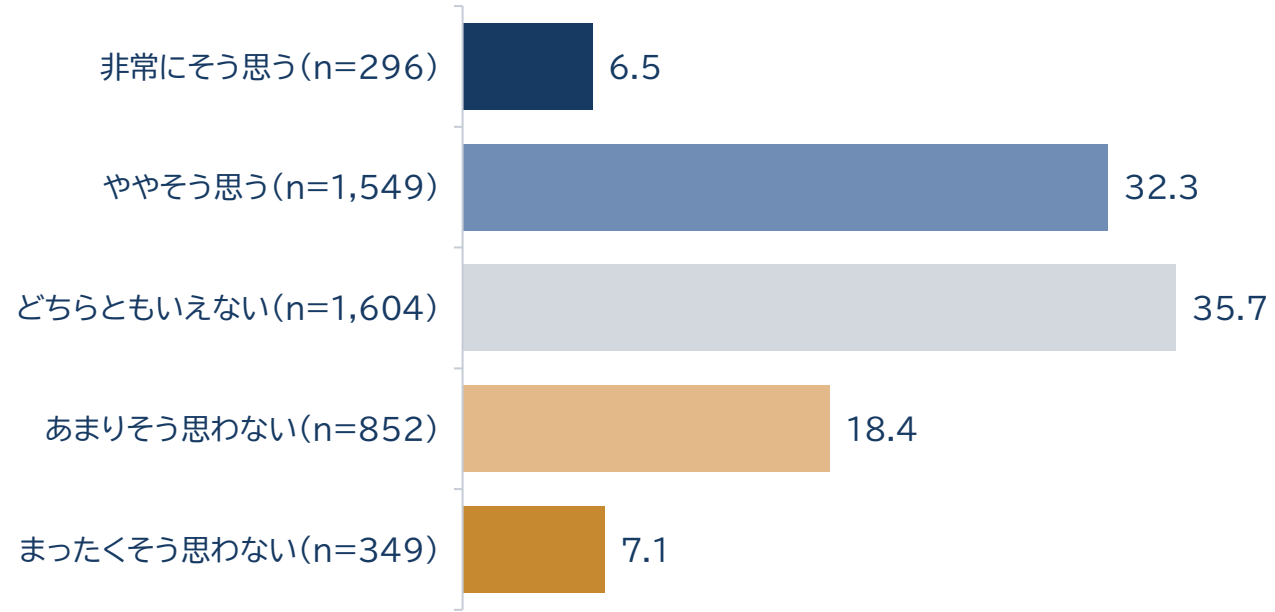
設問 QC1_5

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、自分の仕事の意味や価値を感じやすい

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
38.8	25.5	3.13
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「成長・意味の実感」の項目（p.5）

学びや気づき｜TOP2%は38.8%、BOTTOM2%は24.9%

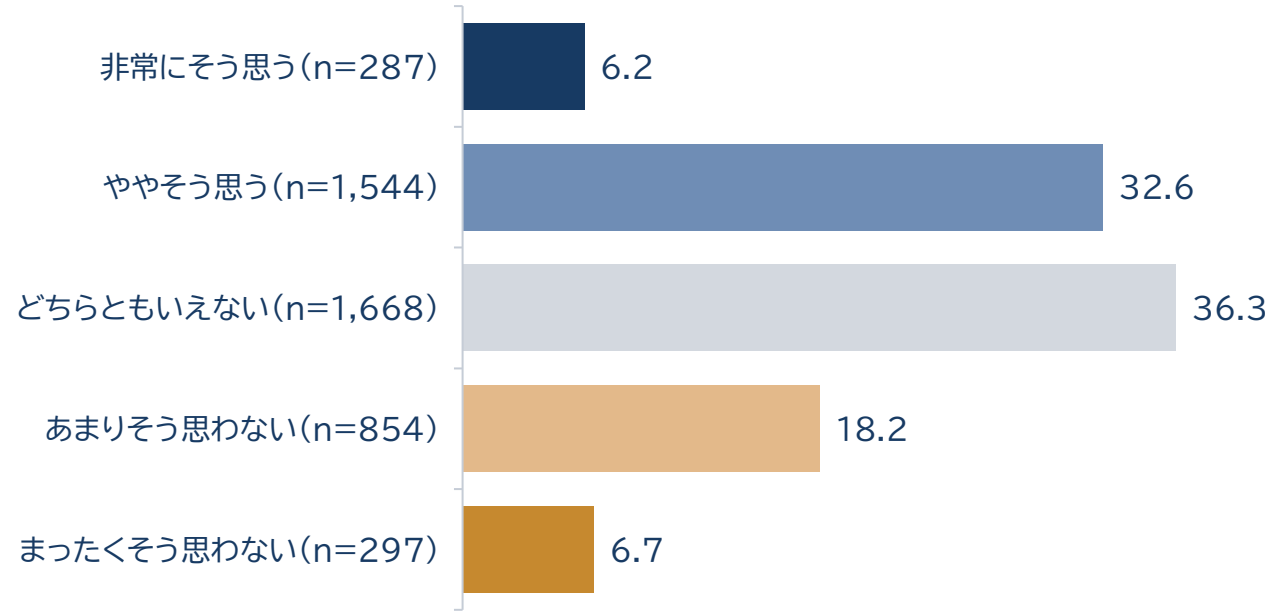
設問 QC1_6

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、他者から学びや気づきを得やすい

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
38.8	24.9	3.13
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QC1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「成長・意味の実感」の項目（p.5）

無理なく関わる｜TOP2%は48.4%、BOTTOM2%は18.7%

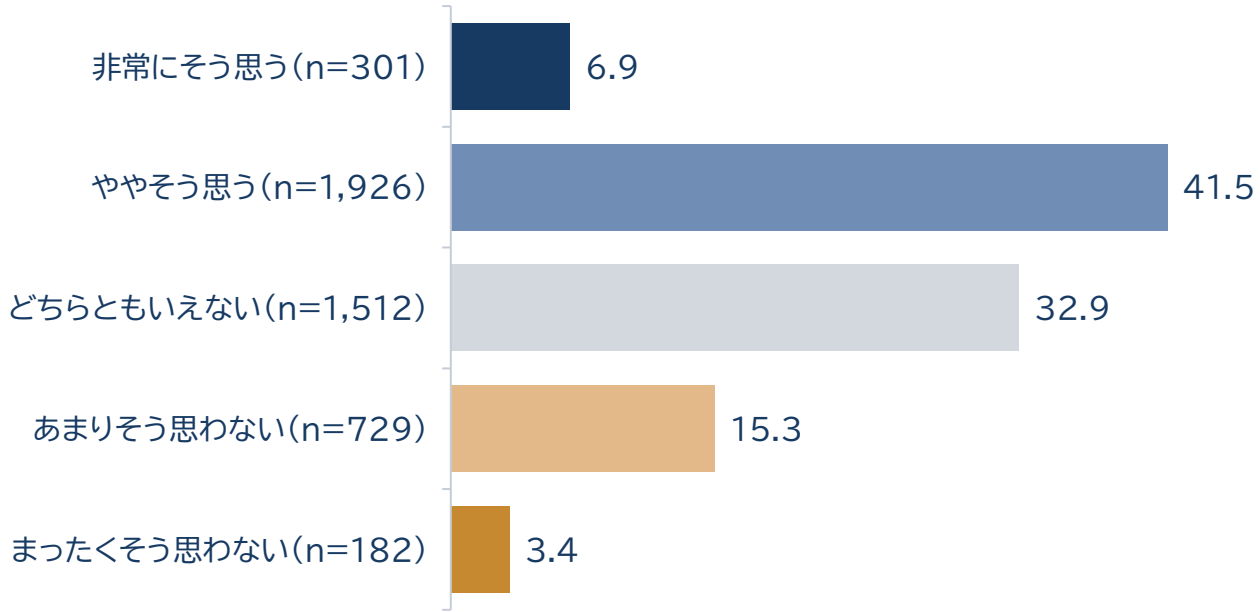
設問 QG1_1

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、周囲の人と無理なく関わりながら仕事を進めやすい

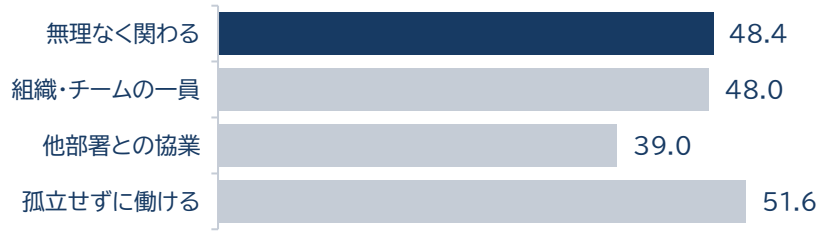
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
48.4	18.7	3.33
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QG1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「組織とのつながり」の項目（p.5）

組織・チームの一員｜TOP2%は48.0%、BOTTOM2%は18.5%

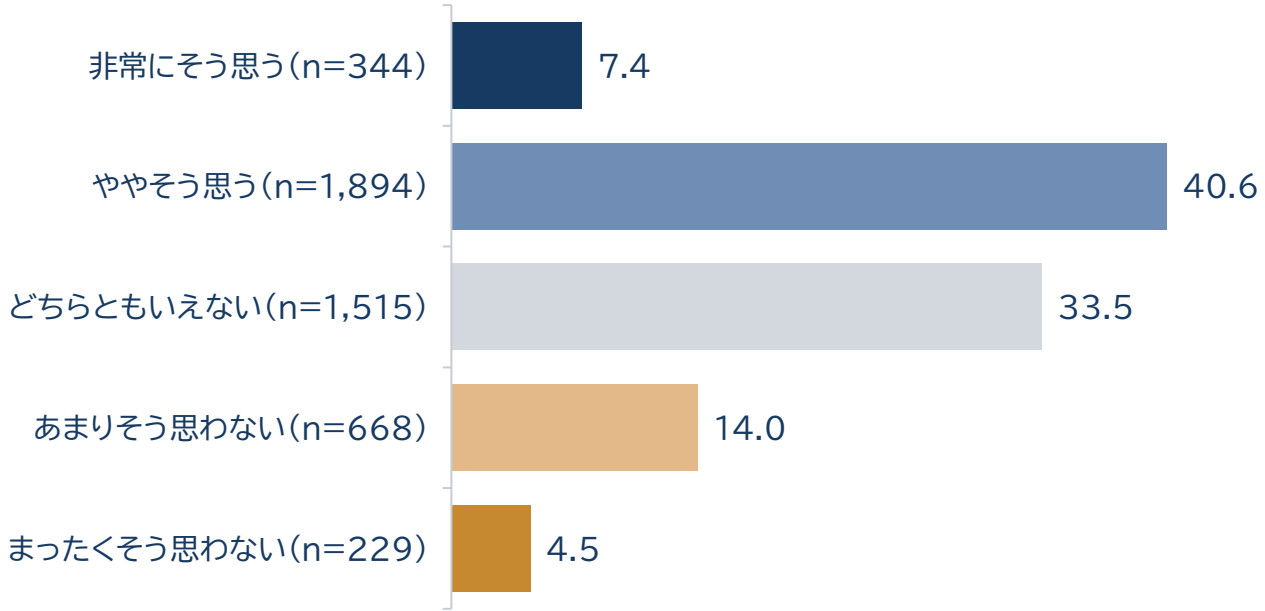
設問 QG1_2

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、自分が組織やチームの一員として働けていると感じる

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
48.0	18.5	3.32
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QG1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「組織とのつながり」の項目（p.5）

他部署との協業｜TOP2%は39.0%、BOTTOM2%は24.3%

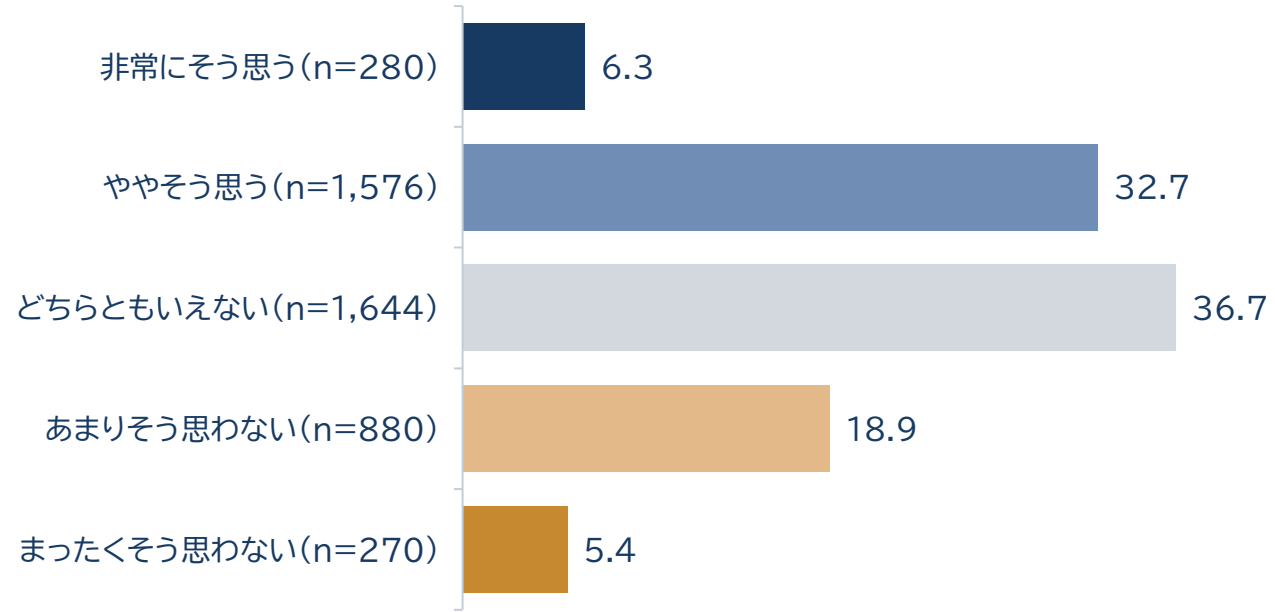
設問 QG1_3

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、他部署との協業がしやすい

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
39.0	24.3	3.16
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QG1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「組織とのつながり」の項目（p.5）

孤立せずに働ける｜TOP2%は51.6%、BOTTOM2%は17.4%

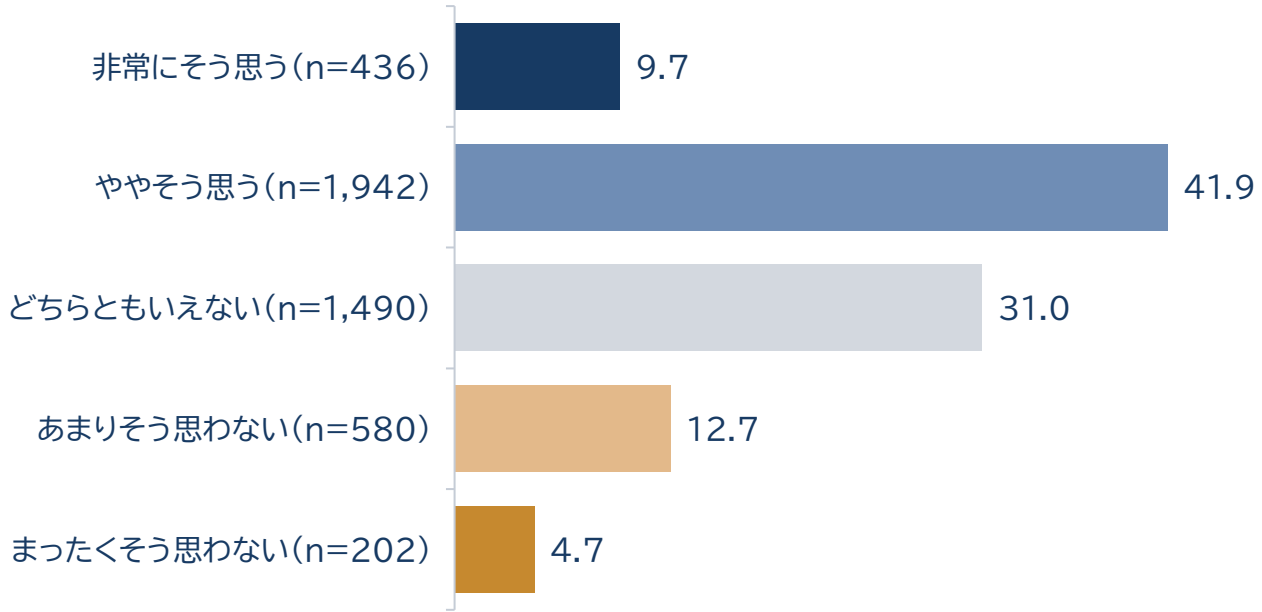
設問 QG1_4

現在主に勤務している職場についてお伺いします。

この職場では、孤立せずに働けている

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
51.6	17.4	3.39
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QG1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「組織とのつながり」の項目（p.5）

成長できている｜TOP2%は36.8%、BOTTOM2%は26.9%

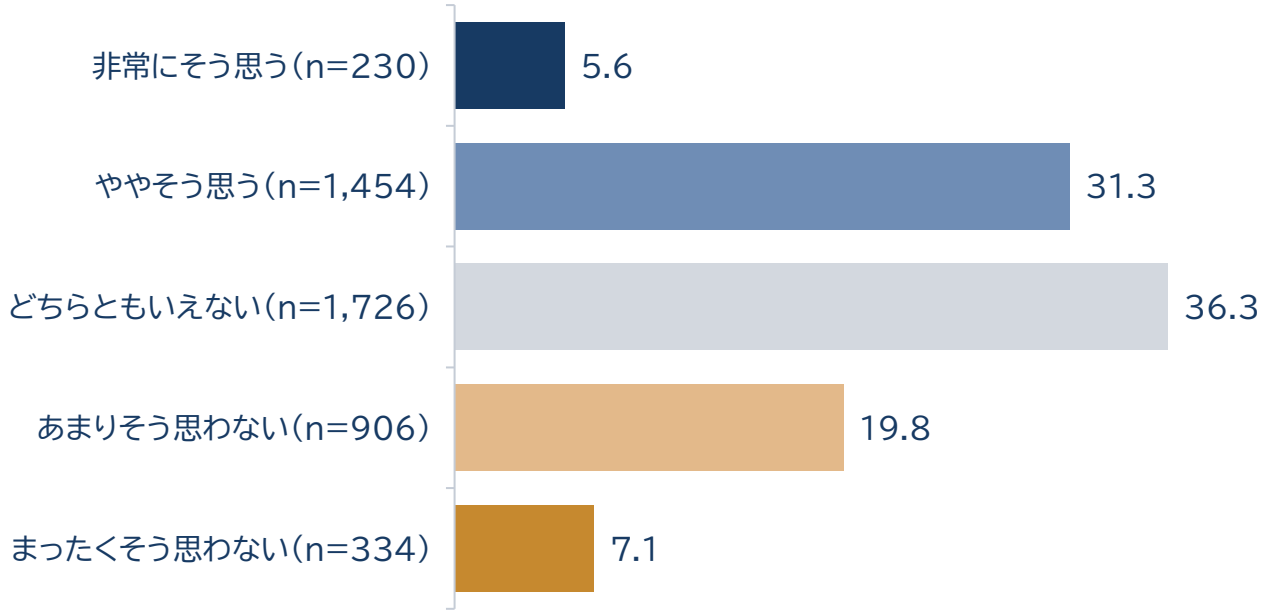
設問 QF4_1

あなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場では、自分が成長できていると感じる

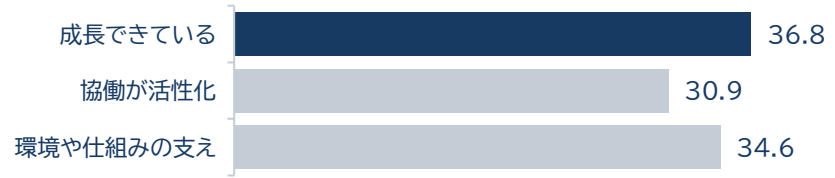
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
36.8	26.9	3.08
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF4の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸「成長・意味の実感」の項目（p.5）

協働が活性化｜TOP2%は30.9%、BOTTOM2%は29.7%

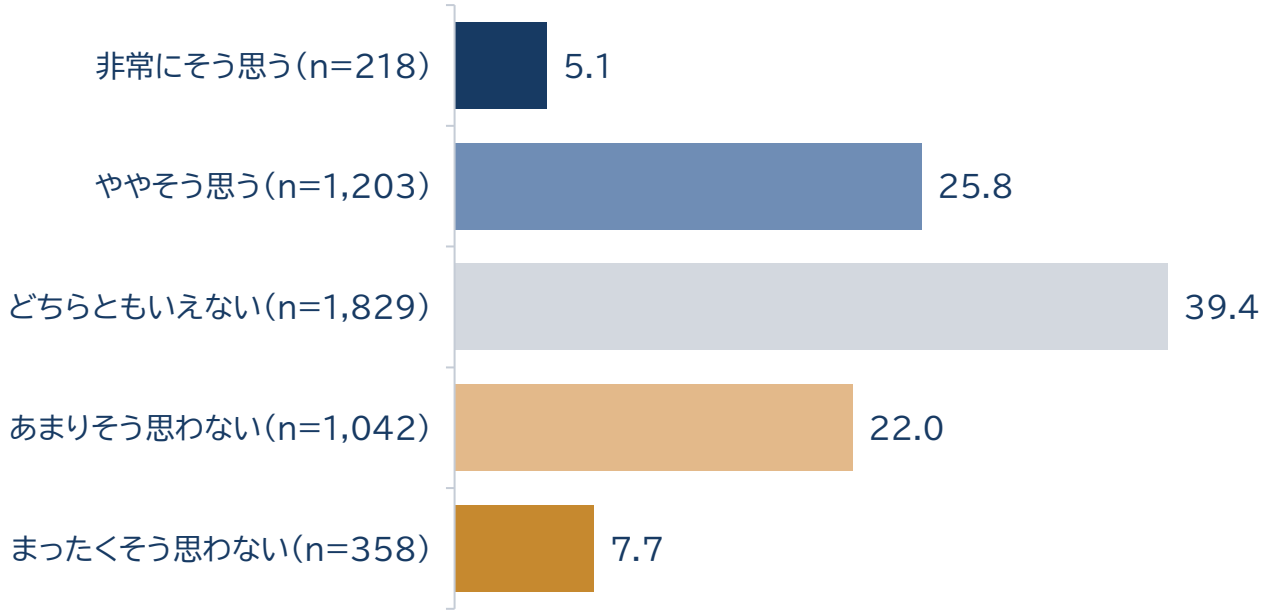
設問 QF4_2

あなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場では、他者や他部署との協働が活性化していると感じる

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
30.9	29.7	2.98
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF4の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸に含めていない項目（その他の体験）

環境や仕組みの支え｜TOP2%は34.6%、BOTTOM2%は26.0%

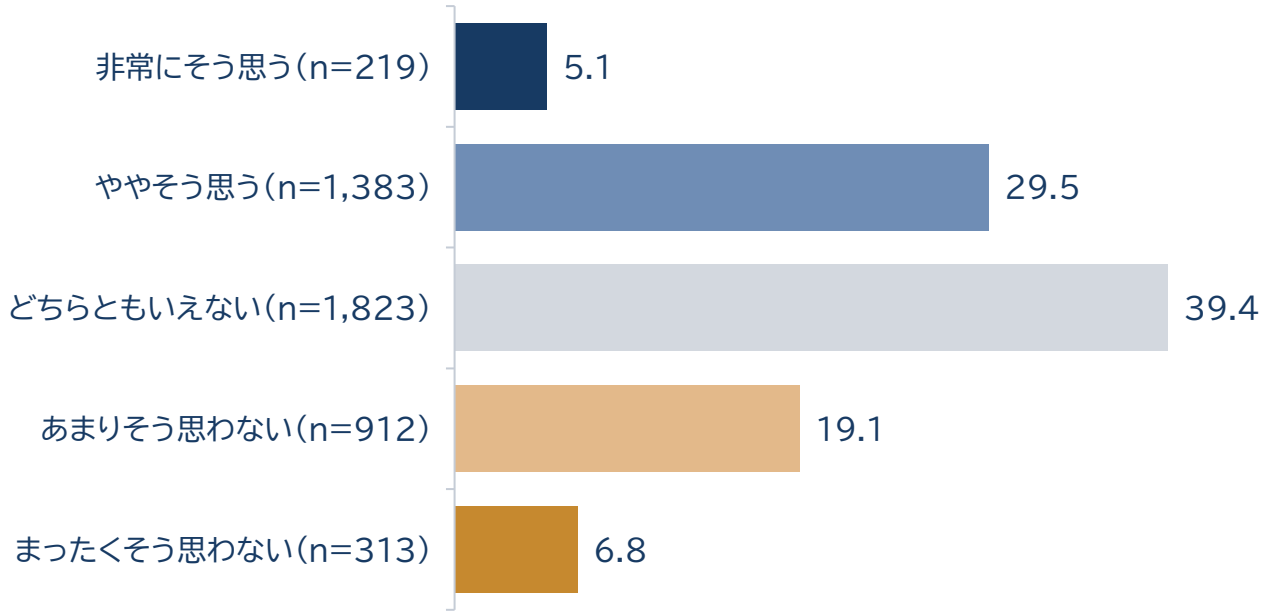
設問 QF4_3

あなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場では、自分の仕事に必要な活動が、環境や仕組みによって十分に支えられていると感じる

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
34.6	26.0	3.07
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF4の各項目のTOP2%（%）

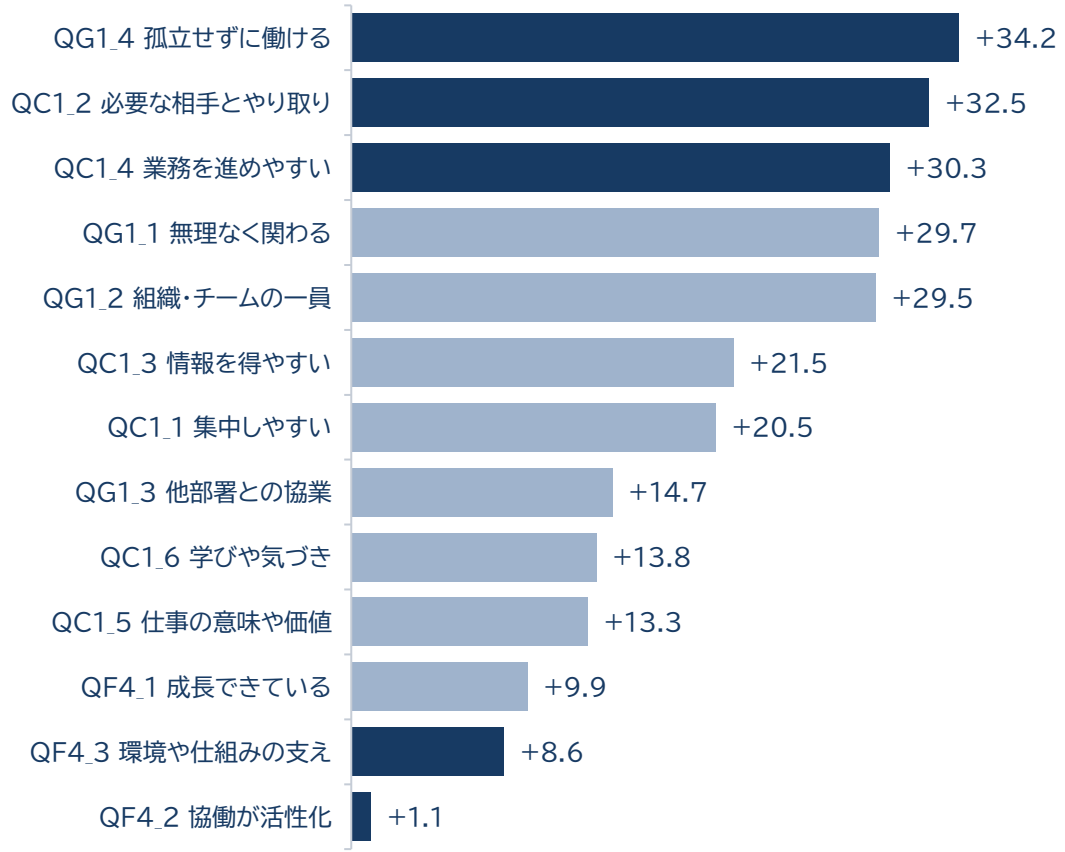


単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。体験3軸に含めていない項目（その他の体験）

日々のやり取りや周囲との関わりは肯定が+30前後。協働の活性化は肯定と否定が拮抗

各項目のGAP(ポイント)

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%。濃い色＝右で取り上げた項目



1. **QG1_4 孤立せずに働ける +34.2** (TOP2 51.6%／BOTTOM2 17.4%／中間 31.0%)
   事実:30項目で最大。孤独感を「感じない」人(44.1%)が「感じる」人(26.3%)を上回るのと同じ向き

2. **QC1_2 必要な相手とやり取り +32.5** (TOP2 51.5%／BOTTOM2 19.0%／中間 29.5%)
   事実:業務を進めやすい(+30.3)、無理なく関わる(+29.7)、組織・チームの一員(+29.5)が続く。働き方制度を問わず肯定が上回る(原則フル出社+30.6、それ以外+42.6、p.66)

3. **QC1_4 業務を進めやすい +30.3** (TOP2 48.1%／BOTTOM2 17.7%／中間 34.2%)
   事実:業務のしやすさ4項目はいずれも+20以上。情報を得やすい(+21.5)、集中しやすい(+20.5)

4. **QF4_3 環境や仕組みの支え +8.6** (TOP2 34.6%／BOTTOM2 26.0%／中間 39.4%)
   事実:その他の体験。環境や仕組みに支えられている実感は+8.6、成長できている(+9.9)も1桁台。中間は36～39%と多い
   仮説:業務は進めやすい一方、成長や支えの実感までは評価が定まっていない人が多い可能性

5. **QF4_2 協働が活性化 +1.1** (TOP2 30.9%／BOTTOM2 29.7%／中間 39.4%)
   事実:その他の体験。他部署との連携が「ほとんどない」人は−24.3、「ほぼ毎日」の人は+13.4で向きが逆になる。他部署との協業のしやすさ(QG1_3)も−13.6／+31.1
   仮説:他部署と関わる機会が少ない人は、協働が活性化している場面に接すること自体が少なく、否定的に答えやすい可能性

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%(ポイント、加重値。四捨五入前の値で計算)。中間＝「どちらともいえない」。事実＝本調査のデータで確認できること、仮説＝データで確かめていない解釈。一時点の調査で、統計的な関係(傾向)を示すもの。他部署との連携頻度はQA7(「ほとんどない」n=1,114、「ほぼ毎日」n=1,289)。|GAP|が3未満の項目は拮抗とみる(誤差の目安±3ポイント程度)

第5章　成果

本資料で「成果」として扱う、本人の意向・実感に関する3項目（p.5）。実績値ではない

オフィス環境・運営 → 職場体験 → **成果**

調査の枠組み（p.3）

この章の構成

働き続けたい	今後もこの職場で働き続けたいと思う（QF1_1）	p.44
他者に勧めたい	自社のオフィスや働き方は、働く場として他者に勧めたいと思う（QF1_2）	p.45
生産的に働けている	自分は生産的に働くことができていると感じる（QF1_3）	p.46
まとめ	GAP（TOP2%−BOTTOM2%）と考察	p.47

働き続けたい｜TOP2%は46.2%、BOTTOM2%は20.3%

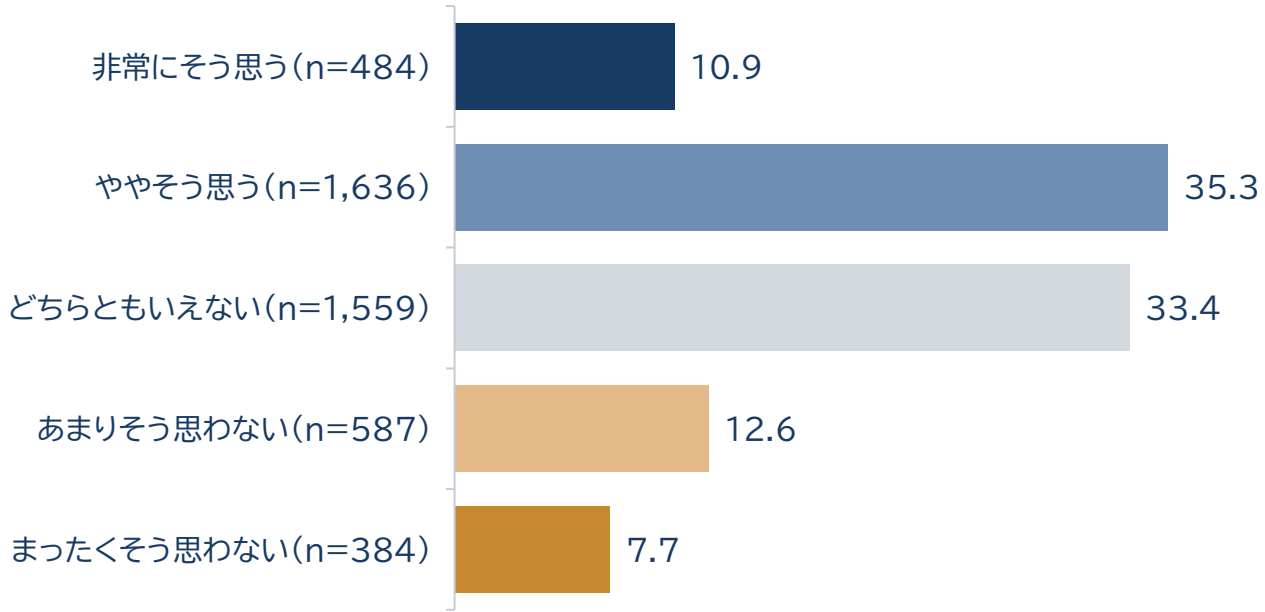
設問 QF1_1

あなたのお気持ちについてうかがいます。

今後もこの職場で働き続けたいと思う

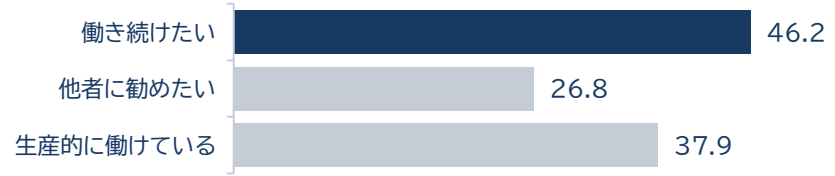
「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
46.2	20.3	3.29
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。本資料で「成果」として扱う3項目の1つ（p.5）

他者に勧めたい｜TOP2%は26.8%、BOTTOM2%は32.8%

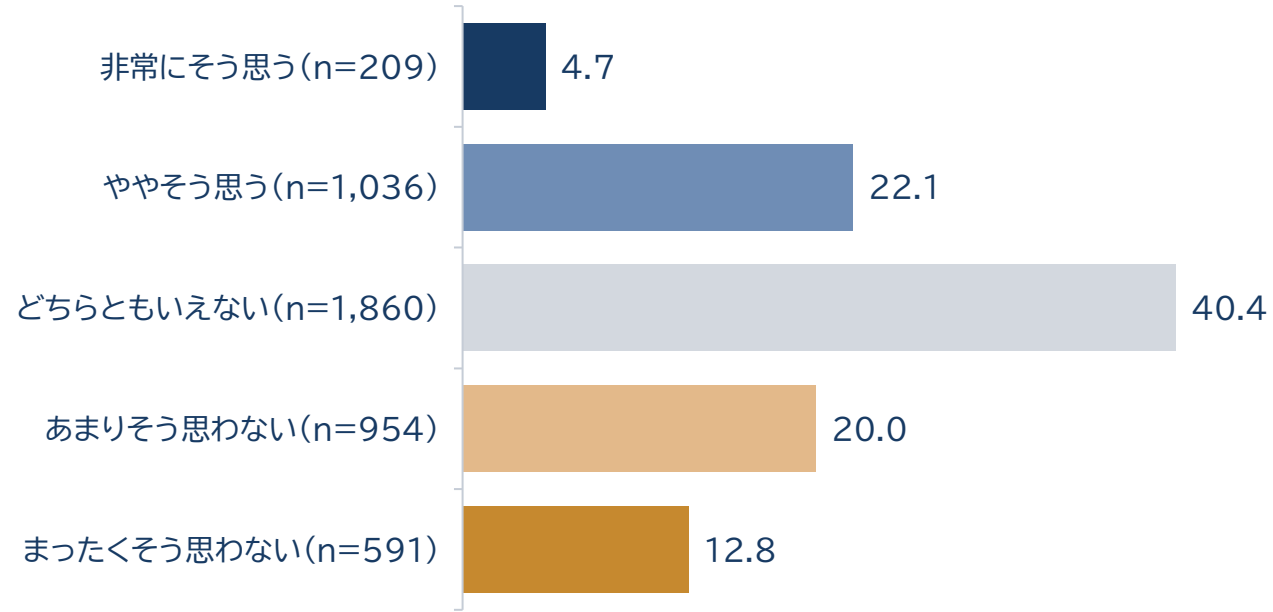
設問 QF1_2

あなたのお気持ちについてうかがいます。

自社のオフィスや働き方は、働く場として他者に勧めたいと思う

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
26.8	32.8	2.86
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。本資料で「成果」として扱う3項目の1つ（p.5）

生産的に働けている｜TOP2%は37.9%、BOTTOM2%は24.8%

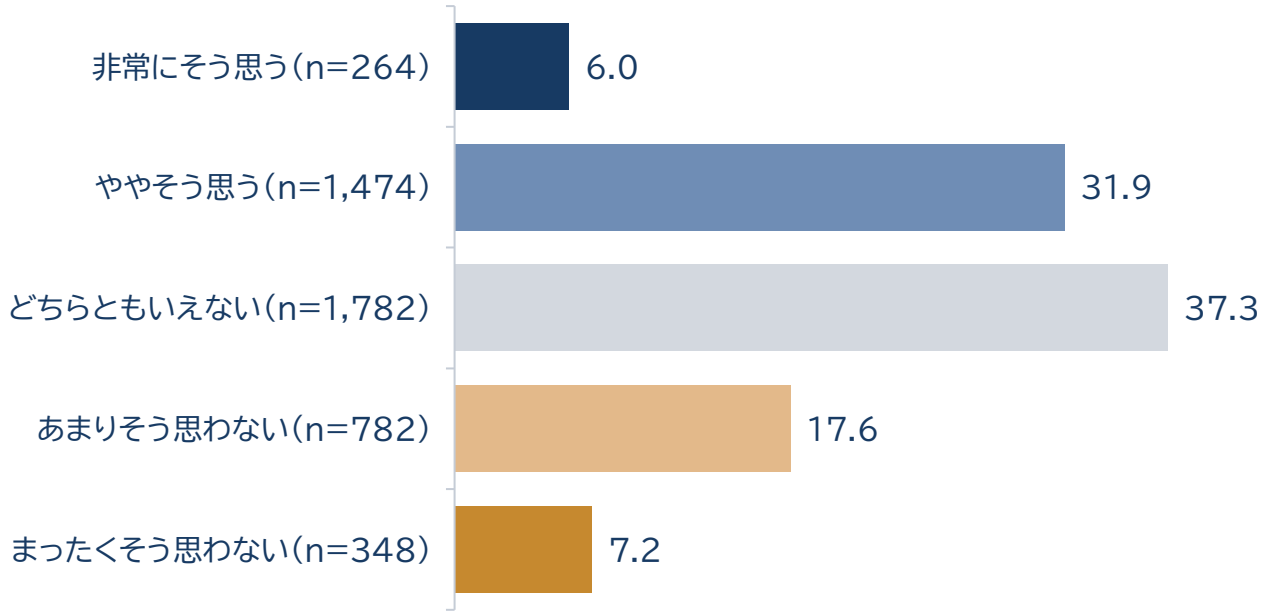
設問 QF1_3

あなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場では、自分は生産的に働くことができていると感じる

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
37.9	24.8	3.12
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QF1の各項目のTOP2%（%）

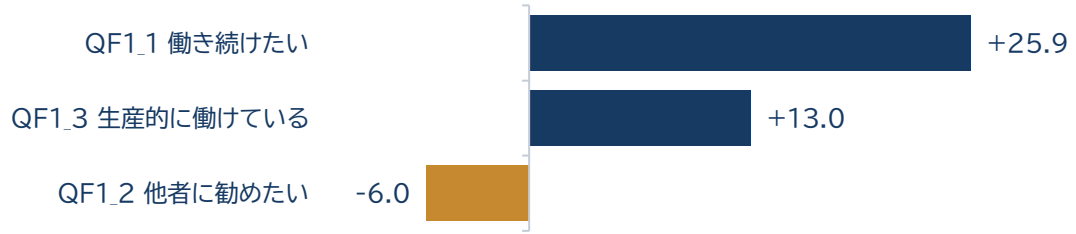


単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目。本資料で「成果」として扱う3項目の1つ（p.5）

「働き続けたい」は+25.9。「他者に勧めたい」は否定が上回る(−6.0)

各項目のGAP(ポイント)

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%。濃い色＝右で取り上げた項目



1 QF1_1 働き続けたい +25.9 (TOP2 46.2%／BOTTOM2 20.3%／中間 33.4%)
事実: 成果3項目で最大。TOP2%は46.2%で、否定(20.3%)の2倍以上。「意思決定が適切なスピードで行われている」に肯定した人(TOP2、n=1,701)では71.4%、否定した人(BOTTOM2、n=1,127)では23.5%(加重値。一時点の比較で、因果関係を示すものではない)

2 QF1_3 生産的に働けている +13.0 (TOP2 37.9%／BOTTOM2 24.8%／中間 37.3%)
事実: 生産的に働けている実感は+13.0。中間が37.3%で、判断を保留する人も多い

3 QF1_2 他者に勧めたい −6.0 (TOP2 26.8%／BOTTOM2 32.8%／中間 40.4%)
事実: 働き続けたい人(2,120人、補正前)では、他者に勧めたい人は48.9%(全体26.8%)、どちらともいえない人は39.6%(加重値)
仮説: 自分が働き続けることと、他者に勧めることの間には隔たりがある可能性

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%(ポイント、加重値。四捨五入前の値で計算)。中間＝「どちらともいえない」。事実＝本調査のデータで確認できること、仮説＝データで確かめていない解釈。一時点の調査で、統計的な関係(傾向)を示すもの

PART 2｜オフィス環境・運営、職場体験、成果

第6章　気持ち

成果とあわせて見る、働く人の気持ち（孤独感・幸福感）

この章の構成

孤独感	職場で孤独感を感じることがある（QE1_1、GAPのマイナスが望ましい方向）	p.49
幸福感	職場で幸福感を感じることがある（QE1_2）	p.50
まとめ	GAP（TOP2%−BOTTOM2%）と考察	p.51

孤独感を感じることがある｜TOP2%は26.3%、BOTTOM2%は44.1%

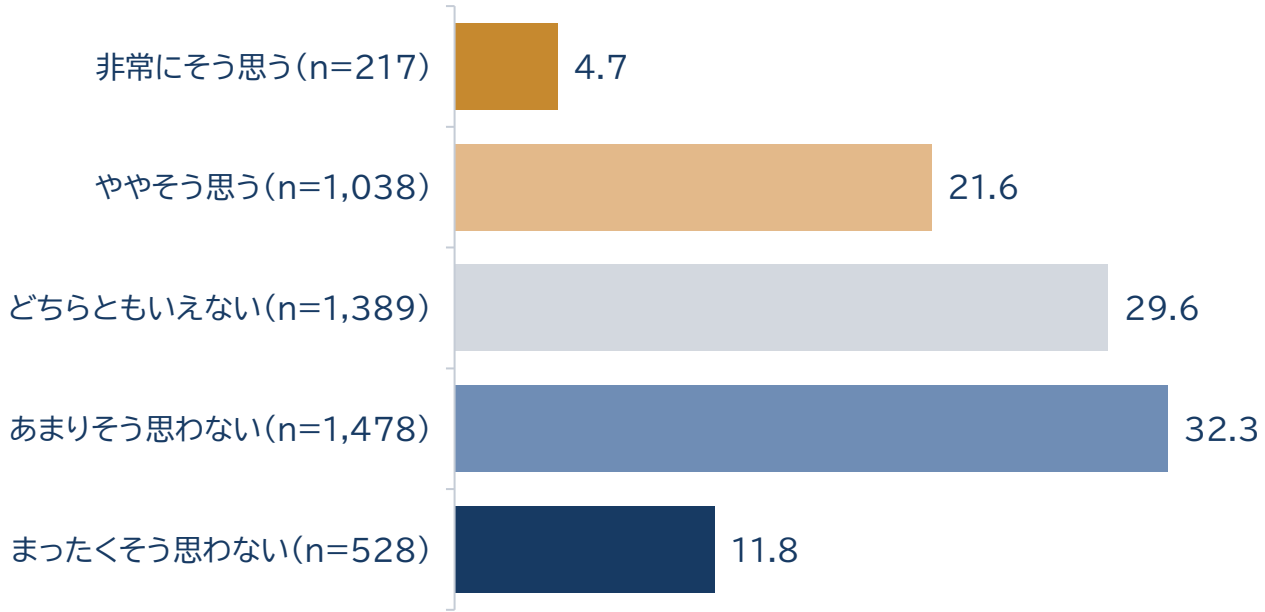
設問 QE1_1

ここからはあなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場で働いていると、孤独感を感じることがある。

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
26.3	44.1	2.75
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QE1の各項目のTOP2%（%）



単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、色付き（オレンジ）がこのページの項目。QE1_1は否定的な内容の設問で、TOP2%は孤独を感じる人の割合を示す。色は、孤独を感じる側をオレンジ、感じない側を濃い青で示した

幸福感を感じることがある｜TOP2%は27.4%、BOTTOM2%は33.6%

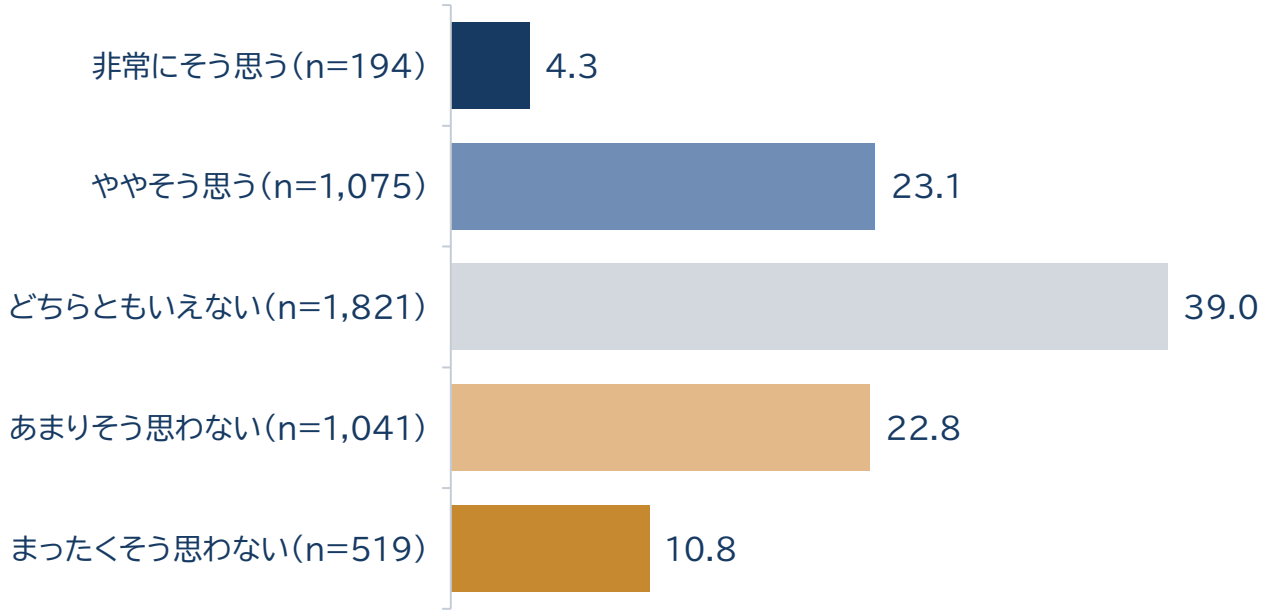
設問 QE1_2

ここからはあなたのお気持ちについてうかがいます。

この職場で働いていると、幸福感を感じることがある。

「非常にそう思う」～「まったくそう思わない」の5段階・単一回答（n=4,650）

回答の分布（%、加重値）



TOP2%	BOTTOM2%	平均点
27.4	33.6	2.87
「非常にそう思う」「ややそう思う」の計	「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計	1～5点の加重平均

QE1の各項目のTOP2%（%）



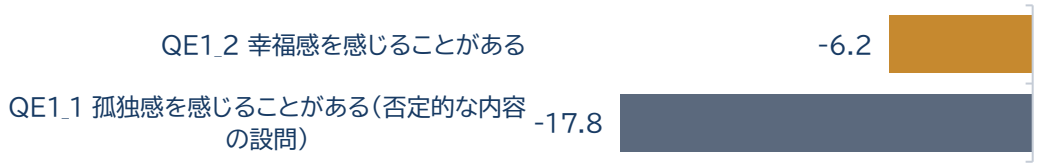
単位：%（加重値）。5段階の回答分布。TOP2%＝「非常にそう思う」「ややそう思う」の計、BOTTOM2%＝「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計、平均点＝1～5点の加重平均。TOP2%・BOTTOM2%・GAPは四捨五入前の値で計算しているため、表示値の合計・差と0.1ポイント異なる場合がある。右下のグラフは同じ設問の全項目で、濃い色がこのページの項目

孤独を感じない人が上回る（GAP−17.8）。幸福感は「どちらともいえない」が最も多い

※孤独感（QE1_1）のみ、GAPのマイナスは望ましい方向（孤独を感じない人が多い）

各項目のGAP（ポイント）

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%。濃い色＝右で取り上げた項目



1 QE1_1 孤独感を感じることがある −17.8（TOP2 26.3%／BOTTOM2 44.1%／中間 29.6%）

事実：否定的な内容の設問で、GAPのマイナスは孤独を「感じない」人が多いことを示す。孤立せずに働けている（QG1_4）も+34.2で肯定が上回る。孤独を感じない向きは、原則フル出社以外の人の方が大きい（−28.0、原則フル出社−15.9、p.66）

2 QE1_2 幸福感を感じることがある −6.2（TOP2 27.4%／BOTTOM2 33.6%／中間 39.0%）

事実：「どちらともいえない」が39.0%で最も多い。働き続けたい人では、幸福感を感じる人は49.0%（全体27.4%、加重値）

仮説：幸福感は職場以外の事情も含めて答えられるため、判断を保留する人が多い可能性

GAP＝TOP2%−BOTTOM2%（ポイント、加重値。四捨五入前の値で計算）。中間＝「どちらともいえない」。事実＝本調査のデータで確認できること、仮説＝データで確かめていない解釈。一時点の調査で、統計的な関係（傾向）を示すもの。QE1_1は否定的な内容の設問（グラフは灰色）

第7章　これからの職場

今後重視したい職場環境と、オフィスに期待する役割を、設問ごとに示す

この章の構成

重視したい職場環境	3つまで（QW1_1）・最も重視（QW1_2）	p.53～54
オフィスに期待する役割	3つまで（QW2_1）・最も期待（QW2_2）	p.55～56

今後重視したい職場環境(3つまで)は「集中」49.5%、「通勤しやすい」42.4%

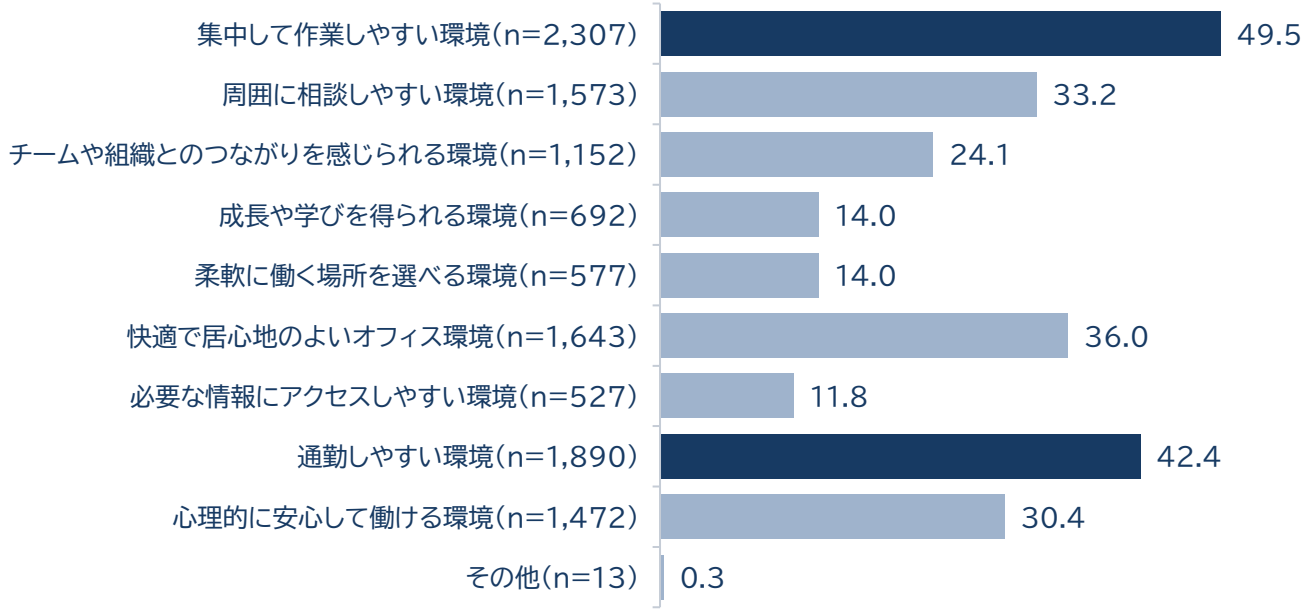
設問 QW1_1

＜重視したいもの3つ(回答は3つ)＞

あなた自身が今後働きたい職場環境として、特に重視したいものはどれですか。

3つまで選択(回答画面の見出しは「回答は3つ」)。設問文は回答画面の文言のまま(n=4,650)

回答(%、加重値)



選択肢	%(加重)	n
集中して作業しやすい環境	49.5	2,307
周囲に相談しやすい環境	33.2	1,573
チームや組織とのつながりを感じられる環境	24.1	1,152
成長や学びを得られる環境	14.0	692
柔軟に働く場所を選べる環境	14.0	577
快適で居心地のよいオフィス環境	36.0	1,643
必要な情報にアクセスしやすい環境	11.8	527
通勤しやすい環境	42.4	1,890
心理的に安心して働ける環境	30.4	1,472
その他	0.3	13

単位:%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値(地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5)、n は回答者数(補正前)。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。選んだ人の割合で合計は100%を超える。選んだ数:1つ825人・2つ454人・3つ3,371人(集計上の注記2、p.5)

最も重視したい職場環境は「通勤しやすい」「心理的に安心」各18.8%、「集中」17.6%

設問 QW1_2

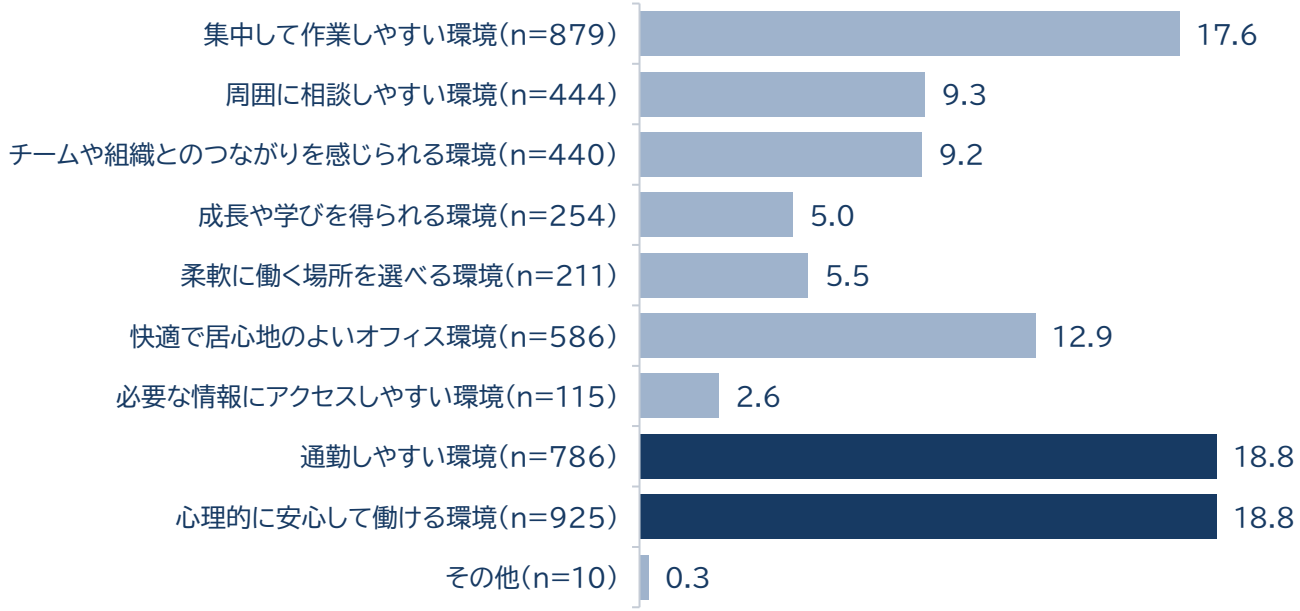
＜最も重視したいもの（回答は1つ）＞

あなた自身が今後働きたい職場環境として、特に重視したいものはどれですか。

1つ選択。設問文は回答画面の文言のまま（n=4,650）

回答（%、加重値）

「集中して作業しやすい環境」は17.6%。QW1_1で選んだものの中から1つを選ぶ



選択肢	%（加重）	n
集中して作業しやすい環境	17.6	879
周囲に相談しやすい環境	9.3	444
チームや組織とのつながりを感じられる環境	9.2	440
成長や学びを得られる環境	5.0	254
柔軟に働く場所を選べる環境	5.5	211
快適で居心地のよいオフィス環境	12.9	586
必要な情報にアクセスしやすい環境	2.6	115
通勤しやすい環境	18.8	786
心理的に安心して働ける環境	18.8	925
その他	0.3	10

単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある

オフィスに期待する役割(3つまで)は「集中」52.9%、「相談・連携」42.4%

設問 QW2_1

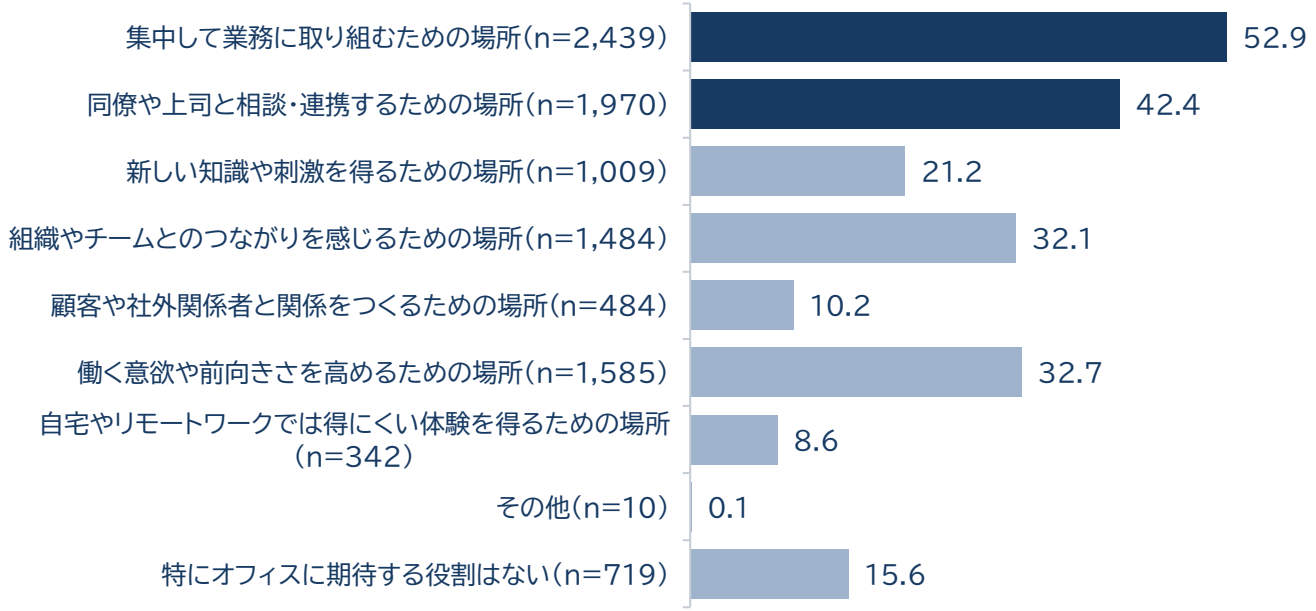
＜重視したいもの3つ(回答は3つ)＞

あなた自身は今後、オフィスにどのような役割をより期待しますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

3つまで選択(回答画面の見出しは「回答は3つ」)。設問文は「1つ選んでください」も含め、回答画面の文言のまま(n=4,650)

回答(%、加重値)

「特にオフィスに期待する役割はない」は15.6%



選択肢	%(加重)	n
集中して業務に取り組むための場所	52.9	2,439
同僚や上司と相談・連携するための場所	42.4	1,970
新しい知識や刺激を得るための場所	21.2	1,009
組織やチームとのつながりを感じるための場所	32.1	1,484
顧客や社外関係者と関係をつくるための場所	10.2	484
働く意欲や前向きさを高めるための場所	32.7	1,585
自宅やリモートワークでは得にくい体験を得るための場所	8.6	342
その他	0.1	10
特にオフィスに期待する役割はない	15.6	719

単位:%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値(地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5)、n は回答者数(補正前)。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。選んだ人の割合で合計は100%を超える。選んだ数:1つ1,680人・2つ548人・3つ2,422人(集計上の注記2、p.5)。「特にオフィスに期待する役割はない」は単独で選ぶ選択肢

最も期待する役割は「集中」28.5%、「相談・連携」17.4%

設問 QW2_2

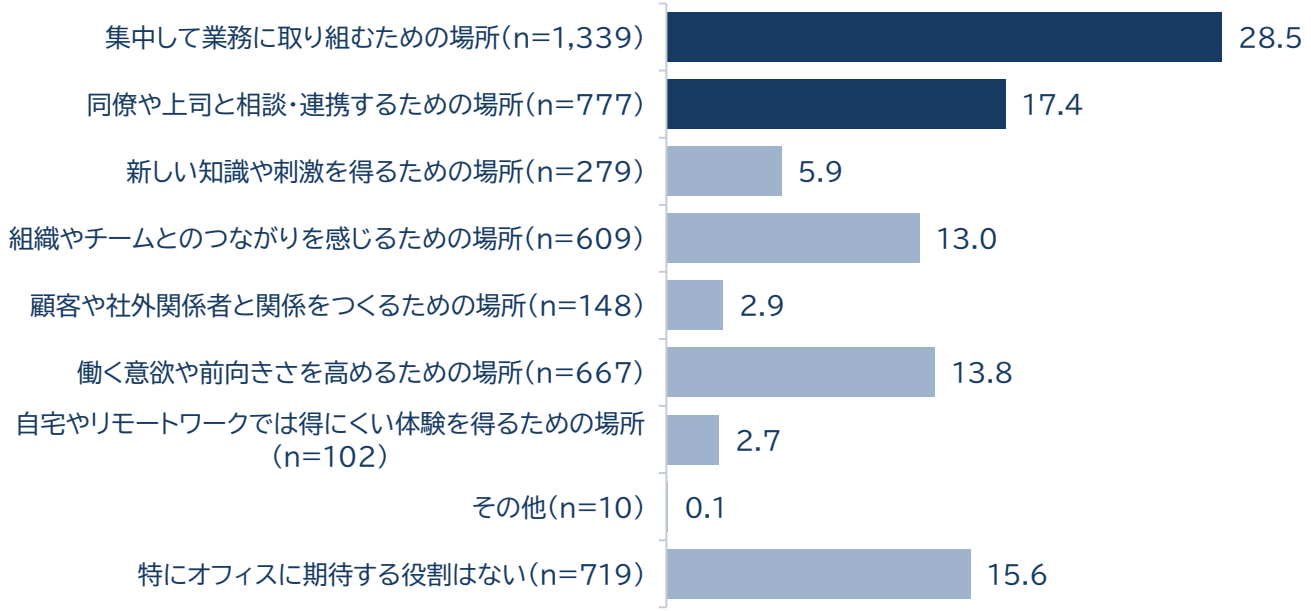
＜最も重視したいもの（回答は1つ）＞

あなた自身は今後、オフィスにどのような役割をより期待しますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1つ選択。設問文は回答画面の文言のまま（n=4,650）

回答（%、加重値）

QW2_1で選んだものの中から1つを選ぶ



選択肢	%（加重）	n
集中して業務に取り組むための場所	28.5	1,339
同僚や上司と相談・連携するための場所	17.4	777
新しい知識や刺激を得るための場所	5.9	279
組織やチームとのつながりを感じるための場所	13.0	609
顧客や社外関係者と関係をつくるための場所	2.9	148
働く意欲や前向きさを高めるための場所	13.8	667
自宅やリモートワークでは得にくい体験を得るための場所	2.7	102
その他	0.1	10
特にオフィスに期待する役割はない	15.6	719

単位：%。濃い青＝見出しで取り上げた項目。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある

第8章　地域で見る

全国8地域で、働く前提と、働きやすさの実感・成果の違いの大きさ（8地域の中での最大と最小の差）を示す

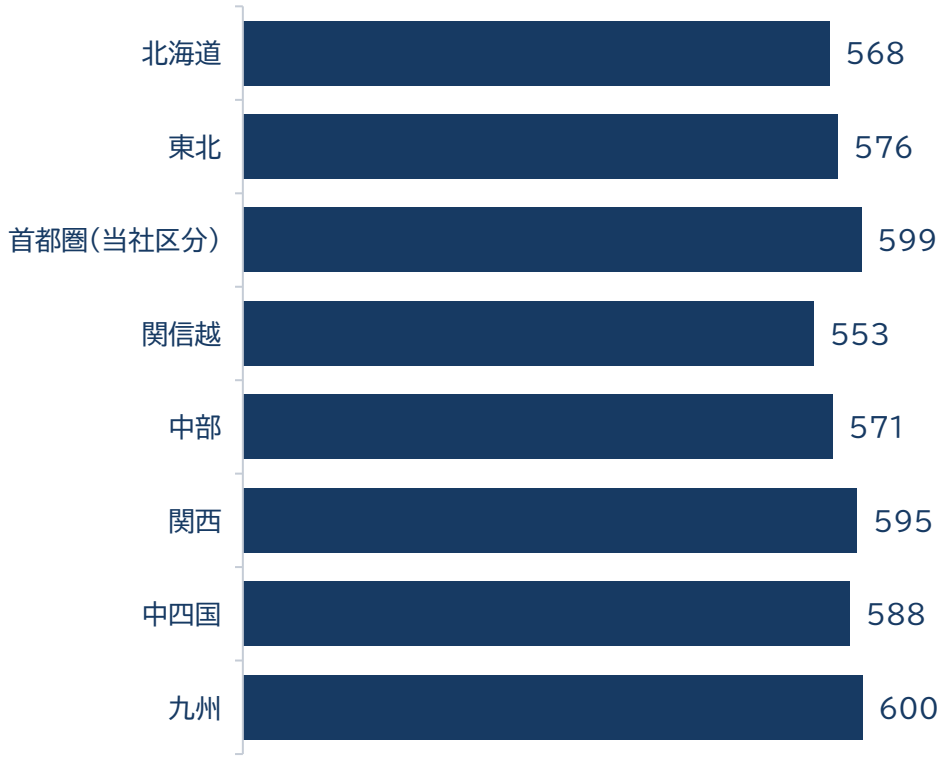
この章の構成

回答者数と働く前提	8地域の回答者数、通勤・業種などの地域差	p.58
体験と成果	職場体験の3軸と成果3項目の地域差	p.59

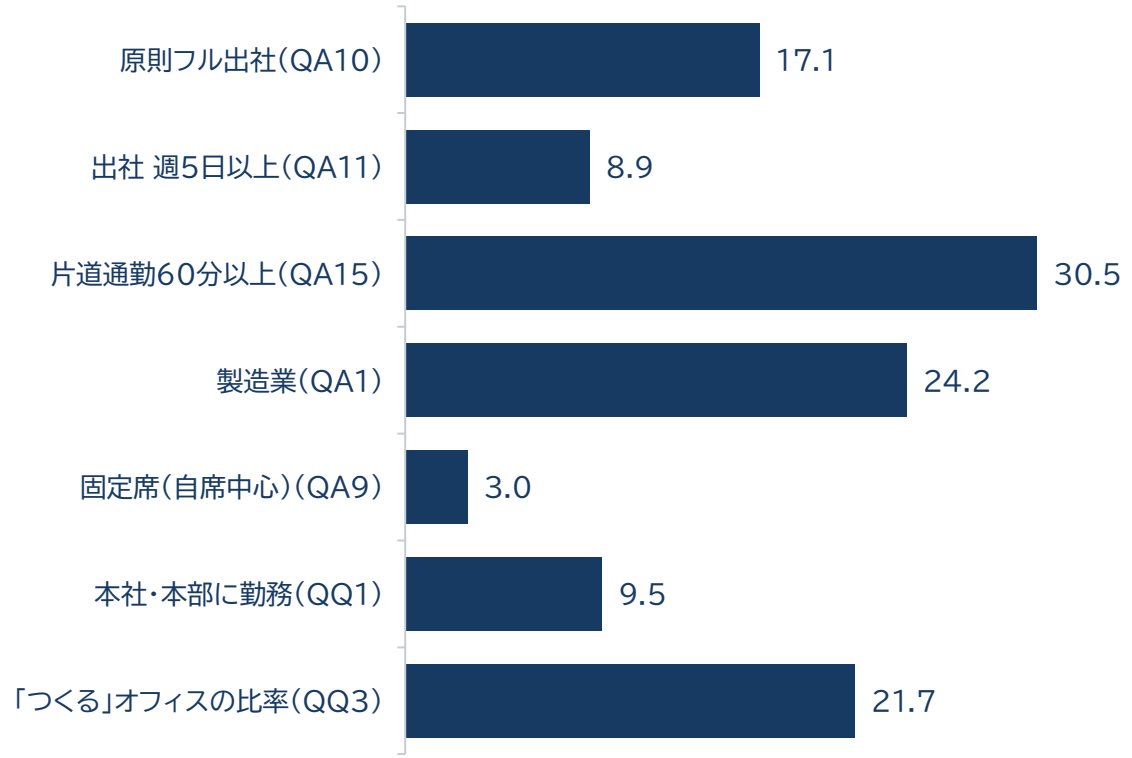
地域で差が大きいのは働く前提：通勤（30.5ポイント）と製造業の比率（24.2ポイント）

回答者数は8地域でほぼ同じ（各553～600人）。右は各比率の8地域の中での最大と最小の差

地域別の回答者数（人）



働く前提の地域による差（8地域の最大−最小、ポイント）



単位：人（補正前の回答者数）、ポイント（加重値の比率の最大−最小）。地域区分は当社の地域ブロック（首都圏＝埼玉・東京・神奈川・山梨、関信越＝茨城・栃木・群馬・千葉・新潟・長野）
「『つくる』オフィスの比率」は4区分の役割を選んだ人（n=3,329）に占める割合。設問：AREA・QA10・QA11・QA15・QA1・QA9・QQ1・QQ3（n=4,650）

働きやすさの実感の地域差は最大0.17点。成果3項目の差は7.8〜10.9ポイント

職場体験の3軸（5点満点の平均点）と成果3項目（TOP2%）の、全体の値と8地域の中での最大と最小の差

指標	全体	地域による差（8地域の最大−最小）
業務のしやすさ（3軸、点）	3.29	0.15点
成長・意味の実感（3軸、点）	3.11	0.17点
組織とのつながり（3軸、点）	3.30	0.17点
働き続けたい（QF1_1）、TOP2%	46.2%	8.5ポイント
他者に勧めたい（QF1_2）、TOP2%	26.8%	7.8ポイント
生産的に働けている（QF1_3）、TOP2%	37.9%	10.9ポイント

通勤（30.5ポイント）や製造業の比率（24.2ポイント）といった働く前提の地域差に比べ、成果3項目の地域差（7.8〜10.9ポイント）は小さい（p.58）。8地域の差は、地域の間に差がなくても偶然で生じる幅（成果3項目で11〜13ポイント程度、3軸で0.21〜0.24点程度）に収まる大きさ。一方、ひとつの地域とほかの7地域を比べると、関西の「生産的に働けている」44.1%（QF1_3）と「仕事の意味や価値を感じやすい」45.1%（QC1_5）、九州の「心理的に安心して働ける環境」を最も重視する割合24.9%（QW1_2）は、年代・性別・企業規模・業種・職位をそろえても確かな差だった（加重値）。
3軸の構成はp.5（業務のしやすさ＝QC1_1〜4、成長・意味の実感＝QC1_5・QC1_6・QF4_1、組織とのつながり＝QG1_1〜4）。30項目ごとの差は参考資料

単位：点（1〜5点の加重平均の最大−最小）、ポイント（加重値のTOP2%の最大−最小）。各地域n=553〜600。偶然で生じる幅＝回答者の地域をランダムに入れ替えて最大−最小を計算する作業を300回行ったときの上位5%の値（加重）。設問：QC1・QF4_1・QG1・QF1（n=4,650）

第9章　オフィスの役割で見る

オフィスの役割（つくる・売る・ささえる・統括する）で、働く前提、働きやすさの実感・成果、ニーズの違いを示す

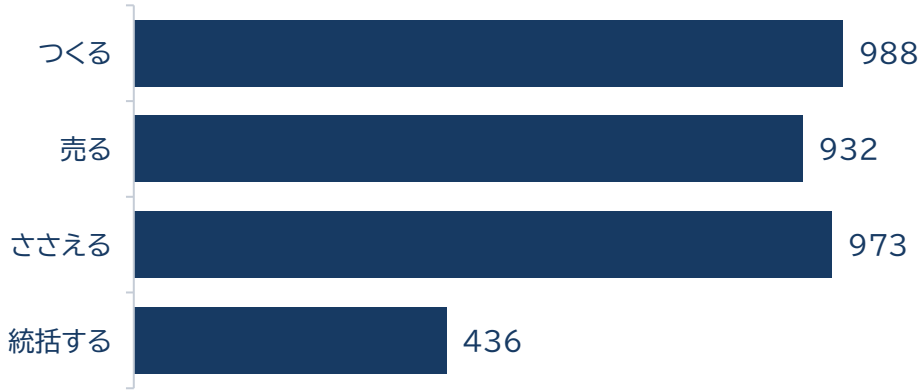
この章の構成

回答者数と働く前提	役割別の回答者数と、拠点・職位・業種などの違い	p.61
体験と成果	職場体験の3軸と成果3項目の役割による差	p.62
役割とニーズ	重視したい職場環境・オフィスに期待する役割	p.63

役割で差が大きいのは製造業の比率（59.5ポイント）と勤務する拠点（53.8ポイント）

オフィスの役割は、4区分のいずれかを選んだ3,329人で比較（「わからない」「どれにもあてはまらない」を除く）

オフィスの役割別の回答者数（人）



つくる＝製品・サービスの設計、開発、製造、改善を主に担う
売る＝顧客との接点、営業、提案、販売促進を主に担う
ささえる＝社内業務の処理、運用、管理、支援を主に担う
統括する＝全社方針の形成、意思決定、戦略立案、全拠点の統括を主に担う

働く前提（%、加重値）

項目	つくる	売る	ささえる	統括する
本社・本部（QQ1）	38.7	32.5	56.2	86.4
管理職（QA2）	13.1	12.4	11.7	35.6
原則フル出社（QA10）	80.0	87.0	81.7	73.7
顧客先・現場中心または複数拠点（QQ2）	11.9	18.3	12.0	11.5
固定席（QA9）	77.0	67.9	84.4	81.3
製造業（QA1）	69.1	9.6	12.2	21.2

単位：人（補正前の回答者数）、%（加重値）。差は四捨五入前の値で計算しているため、表示値の差と0.1ポイント異なる場合がある。オフィスの役割はQQ3（所属する拠点・組織が企業全体の中で担う役割、説明画像を添えて回答）。役割の定義は回答画面の説明の要約
設問：QQ3・QQ1・QA2・QA10・QQ2・QA9・QA1（n=3,329）

働きやすさの実感の役割による差は最大0.24点。成果3項目の差は5.5～16.4ポイント

職場体験の3軸（5点満点の平均点）と成果3項目（TOP2%）の、全体の値と4つの役割の中での最大と最小の差

指標	全体	役割による差（4役割の最大−最小）
業務のしやすさ（3軸、点）	3.29	0.24点
成長・意味の実感（3軸、点）	3.11	0.23点
組織とのつながり（3軸、点）	3.30	0.21点
働き続けたい（QF1_1）、TOP2%	46.2%	16.4ポイント
他者に勧めたい（QF1_2）、TOP2%	26.8%	5.5ポイント
生産的に働けている（QF1_3）、TOP2%	37.9%	7.9ポイント

3軸（0.21～0.24点）と「働き続けたい」（16.4ポイント）の役割による差は、偶然で生じる幅（3軸0.14～0.16点、働き続けたい9.8ポイント程度）を上回った。「他者に勧めたい」「生産的に働けている」の差は偶然で生じる幅（9ポイント程度）に収まる大きさ。役割の順位や優劣を示すものではない。30項目ごとの差は参考資料

単位：点（1～5点の加重平均の最大−最小）、ポイント（加重値のTOP2%の最大−最小）。n：つくる988・売る932・ささえる973・統括する436。偶然で生じる幅＝回答者の役割をランダムに入れ替えて最大−最小を計算する作業を300回行ったときの上位5%の値（加重）。設問：QQ3・QC1・QF4_1・QG1・QF1

重視したい環境に「集中」を選んだ割合は「つくる」60.2%、「売る」42.8%

QW1_1・QW2_1で3つまで選んだ人の割合。※＝役割による違いが統計的に確かなもの、†＝参考程度

読み方 オフィスの役割(列:つくる・売る・ささえる・統括する)ごとに、各選択肢(行)を3つまでの中に選んだ人の割合(%)。
記号と色 ※＝役割による違いが統計的に確かなもの、†＝参考程度 ｜ **枠**＝見出しで触れた値

今後重視したい職場環境(QW1_1、%)

選択肢	つくる	売る	ささえる	統括する
集中※	**60.2**	**42.8**	50.4	55.8
相談	36.9	34.6	34.5	30.7
つながり	24.2	25.8	21.6	23.3
成長・学び	13.9	16.2	15.4	12.7
場所を選べる	12.9	15.3	15.3	17.5
快適・居心地※	31.2	37.6	39.5	42.9
情報アクセス	10.2	12.1	12.8	16.5
通勤しやすい	38.4	41.7	45.2	40.6
心理的な安心	27.9	29.8	29.8	26.5
その他	0.2	0.3	0.3	0.0

オフィスに期待する役割(QW2_1、%)

選択肢	つくる	売る	ささえる	統括する
集中†	61.2	50.3	55.8	56.7
相談・連携†	46.9	39.7	42.8	50.0
知識・刺激	26.4	22.1	19.6	23.3
つながり	33.3	35.1	33.2	35.3
顧客・社外との関係※	8.6	14.4	8.7	13.3
意欲・前向きさ†	28.9	34.9	31.3	39.9
リモートで得にくい体験	7.0	9.5	11.9	9.1
その他	0.1	0.5	0.0	0.0
特にない	11.7	13.3	13.4	7.8

単位:%(加重値、3つまで選択)。n:つくる988・売る932・ささえる973・統括する436。※＝ウエイトを考慮したカイ二乗検定(デザイン効果で補正)で確かな差、†＝参考程度(基準はp.5)。選択肢ごとに個別に検定しているため(計19)、多重比較による偶然の差を含む可能性がある。※の3つと、オフィスに期待する役割の「集中」(†)は、多重比較の補正(FDR補正)をしても差が残る
選択肢の全文はp.53・55。設問:QQ3・QW1_1・QW2_1(n=3,329)

参考資料

本文の集計を補う表と、回答者の属性を示す

この資料の構成

30項目の差	30項目のGAPと、地域・オフィスの役割による差	p.65
働き方制度別のGAP	原則フル出社とそれ以外の比較（探索的分析）	p.66
肯定・中間・否定	30項目の肯定・中間・否定の内訳	p.67
回答者の属性	性別・年代・未既婚・同居の子ども	p.68
職種	SC3（複数回答）	p.69
勤務地の都道府県	SC6（47都道府県）	p.70

30項目のTOP2%の差は、地域で4.0～11.5ポイント、役割で5.0～19.1ポイント

本設問30項目について、全体のTOP2%とGAP、8地域・4つのオフィスの役割の中でのTOP2%の最大と最小の差（ポイント）

読み方　本設問30項目ごとに、**全体**＝全回答者のTOP2%（「非常にそう思う」「ややそう思う」の割合）、**GAP**＝TOP2%－BOTTOM2%（「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の割合）、
地域の差・役割の差＝8地域・4つのオフィスの役割の中での、TOP2%の最大－最小（ポイント）。＊＝役割の差が偶然で生じる幅を上回った項目
色と枠　**枠**＝見出しで触れた値（差の最小・最大）　｜　**オレンジ**＝GAPが望ましくない向き（マイナス。孤独感QE1_1だけはプラスが望ましくない向き）

項目	全体	GAP	地域の差	役割の差
QB1_1 集中できる場所	38.0	+9.7	6.7	12.2＊
QB1_2 音や視線の配慮	32.3	+1.3	6.0	13.3＊
QB1_3 相談しやすい場所	45.4	+20.9	9.0	8.7
QB1_4 会議環境	43.3	+18.7	7.4	9.5
QB1_5 ITツール・通信	37.5	+11.3	**11.5**	13.8＊
QB1_6 対面・リモートの両立	27.3	−15.7	10.8	**19.1＊**
QB1_7 出社ルールの適切さ	31.1	−2.4	8.6	11.1＊
QB1_8 場所選択の効果	23.5	−13.4	7.2	6.4
QB1_9 上司の支援	36.7	+10.5	4.1	13.2＊
QB1_10 適切なスピードの意思決定	37.0	+13.3	7.0	13.6＊
QB11_1 オフィス環境に満足	39.4	+10.6	7.7	12.4＊
QB11_2 運用の制度に満足	36.6	+7.9	6.5	9.6
QC1_1 集中しやすい	44.1	+20.5	7.1	14.1＊
QC1_2 必要な相手とやり取り	51.5	+32.5	5.2	6.5
QC1_3 情報を得やすい	43.5	+21.5	10.9	11.7＊

項目	全体	GAP	地域の差	役割の差
QC1_4 業務を進めやすい	48.1	+30.3	8.6	11.8＊
QC1_5 仕事の意味や価値	38.8	+13.3	10.0	7.9
QC1_6 学びや気づき	38.8	+13.8	8.0	8.2
QG1_1 無理なく関わる	48.4	+29.7	6.6	11.7＊
QG1_2 組織・チームの一員	48.0	+29.5	9.2	6.9
QG1_3 他部署との協業	39.0	+14.7	9.6	8.7
QG1_4 孤立せずに働ける	51.6	+34.2	9.1	5.6
QE1_1 孤独感を感じることがある	26.3	−17.8	5.8	**5.0**
QE1_2 幸福感を感じることがある	27.4	−6.2	**4.0**	5.2
QF4_1 成長できている	36.8	+9.9	8.6	10.8＊
QF4_2 協働が活性化	30.9	+1.1	8.1	10.1＊
QF4_3 環境や仕組みの支え	34.6	+8.6	6.3	11.7＊
QF1_1 働き続けたい	46.2	+25.9	8.5	16.4＊
QF1_2 他者に勧めたい	26.8	−6.0	7.8	5.5
QF1_3 生産的に働けている	37.9	+13.0	10.9	7.9

単位：%（全体のTOP2%、加重値）、ポイント（GAP＝TOP2%－BOTTOM2%、地域・役割の中での最大－最小）。地域・役割の順位や優劣を示すものではない。偶然で生じる幅は、地域で10.6～13.1ポイント、役割で8.2～10.0ポイント（回答者の地域・役割をランダムに入れ替えて最大－最小を計算する作業を300回行ったときの上位5%の値、加重）。地域の差は30項目すべてがこの幅に収まり（ひとつの地域とほかの7地域の比較はp.59）、役割の差は16項目（＊）で、その項目の偶然で生じる幅を上回った。役割の比較はn=3,329
設問：QB1・QB11・QC1・QG1・QF4・QE1・QF1（n=4,650）。QE1_1（孤独感）のみ、GAPのマイナスが望ましい方向

原則フル出社とそれ以外で、GAPに確かな差があったのは30項目中14項目

原則フル出社の人（4,132人）と、それ以外（出社中心のハイブリッドなど、518人）のGAP。2群は職位・オフィスの役割などの構成が異なり、差は働き方制度だけによるものとは限らない

読み方　GAP＝TOP2%（「非常にそう思う」「ややそう思う」の割合）−BOTTOM2%（「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の割合）。
全体＝全回答者、**原則フル出社**＝働き方制度が原則フル出社の人、**それ以外**＝出社中心のハイブリッドなどの人、**差**＝それ以外−原則フル出社（ポイント）
記号と色　濃い青の太字・※＝確かな差、†＝参考程度　｜　**オレンジ**＝GAPが望ましくない向き（マイナス。孤独感QE1_1だけはプラスが望ましくない向き）

項目	全体	原則フル出社	それ以外	差
QB1_1 集中できる場所	+9.7	+7.8	+20.4	+12.6†
QB1_2 音や視線の配慮	+1.3	−0.5	+10.7	+11.2†
QB1_3 相談しやすい場所	+20.9	+17.4	+39.8	**+22.4※**
QB1_4 会議環境	+18.7	+14.8	+39.5	**+24.7※**
QB1_5 ITツール・通信	+11.3	+6.2	+38.5	**+32.3※**
QB1_6 対面・リモートの両立	−15.7	−23.9	+28.2	**+52.1※**
QB1_7 出社ルールの適切さ	−2.4	−8.5	+30.4	**+38.9※**
QB1_8 場所選択の効果	−13.4	−20.2	+22.9	**+43.0※**
QB1_9 上司の支援	+10.5	+7.5	+26.8	**+19.3※**
QB1_10 適切なスピードの意思決定	+13.3	+10.8	+26.4	**+15.7※**
QB11_1 オフィス環境に満足	+10.6	+8.3	+22.6	**+14.3※**
QB11_2 運用の制度に満足	+7.9	+4.3	+26.9	**+22.6※**
QC1_1 集中しやすい	+20.5	+18.5	+31.3	+12.8†
QC1_2 必要な相手とやり取り	+32.5	+30.6	+42.6	+12.0†
QC1_3 情報を得やすい	+21.5	+18.9	+35.7	**+16.8※**

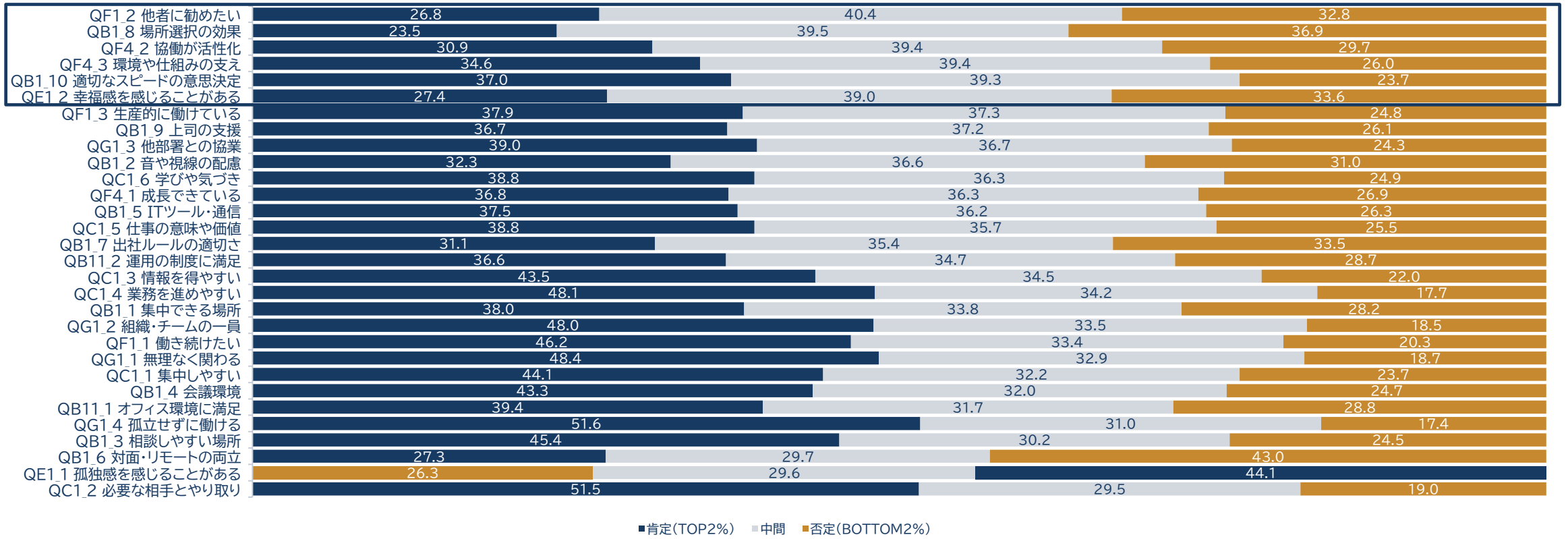
項目	全体	原則フル出社	それ以外	差
QC1_4 業務を進めやすい	+30.3	+28.7	+39.0	+10.3†
QC1_5 仕事の意味や価値	+13.3	+11.8	+21.2	+9.4
QC1_6 学びや気づき	+13.8	+12.1	+23.2	+11.1†
QG1_1 無理なく関わる	+29.7	+27.8	+39.9	+12.1†
QG1_2 組織・チームの一員	+29.5	+28.8	+32.9	+4.1
QG1_3 他部署との協業	+14.7	+13.6	+20.8	+7.2
QG1_4 孤立せずに働ける	+34.2	+33.6	+37.4	+3.8
QE1_1 孤独感を感じることがある	−17.8	−15.9	−28.0	−12.1†
QE1_2 幸福感を感じることがある	−6.2	−8.1	+4.0	+12.2†
QF4_1 成長できている	+9.9	+8.0	+20.6	**+12.7※**
QF4_2 協働が活性化	+1.1	−1.7	+16.2	**+17.9※**
QF4_3 環境や仕組みの支え	+8.6	+6.8	+18.5	+11.7†
QF1_1 働き続けたい	+25.9	+24.8	+32.0	+7.2
QF1_2 他者に勧めたい	−6.0	−9.4	+11.8	**+21.1※**
QF1_3 生産的に働けている	+13.0	+11.1	+23.4	+12.3†

単位：ポイント（GAP＝TOP2%−BOTTOM2%、加重値）。※＝確かな差、†＝参考程度（有効サンプルサイズで補正した検定、基準はp.5）。†（参考程度）の11項目を含む25項目は、多重比較の補正（FDR補正）をしても差が残る。それ以外の人は有効サンプルサイズ約283人で、単純無作為抽出を仮定したGAPの95%信頼区間の幅は±8〜10ポイント程度。注：30項目を個別に検定した探索的分析。多重比較による偶然の差を含む可能性があるため、個々の項目だけでなく全体的な傾向として解釈する
差が最も大きいのは対面・リモートの両立（+52.1ポイント）。QE1_1（孤独感）のみ、GAPのマイナスが望ましい方向。設問：QA10と本設問30項目（n=4,650）

「どちらともいえない」が39%以上の項目は6つ

肯定が少なくても、否定が多いとは限らない。本設問30項目を肯定（TOP2%）・中間（どちらともいえない）・否定（BOTTOM2%）に分け、中間の大きい順に並べた

読み方　本設問30項目それぞれの回答を、**肯定**（TOP2%：「非常にそう思う」「ややそう思う」）・**中間**（どちらともいえない）・**否定**（BOTTOM2%：「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」）の割合（%）で示した。中間の大きい順
枠＝中間が39%以上の6項目　｜　孤独感（QE1_1）だけは、孤独を感じる側（肯定）をオレンジで示した



単位：%（加重値）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。QE1_1は否定的な内容の設問で、肯定（TOP2%）は孤独を感じる人の割合（この行だけ、孤独を感じる側をオレンジ、感じない側を濃い青で示した）
設問：QB1・QB11・QC1・QG1・QF4・QE1・QF1（n=4,650）

回答者は男性63.1%・女性36.9%。平均年齢41.0歳

性別・年代の構成は、ウエイトで母集団に合わせて補正した値。年代は20代～50代がそれぞれ2～3割。未既婚・同居の子どもは調査会社の登録属性

F1　性別（%、加重値）

設問：あなたの性別をお答えください。



QAGE　年代（%、加重値）

年齢（F2）から区分



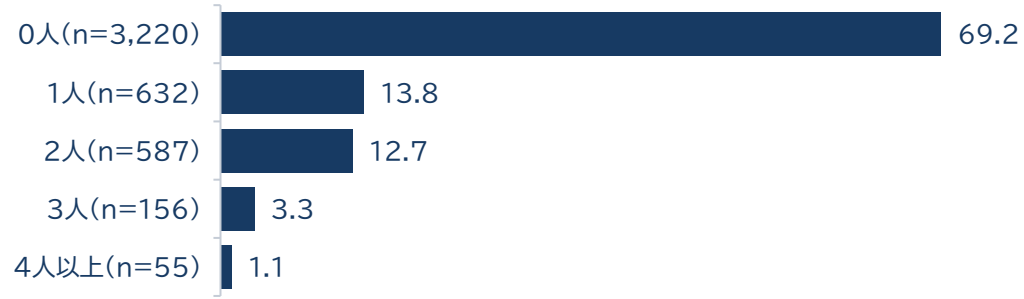
QW4　未既婚（%、加重値）

調査会社の登録属性



QW6　同居の子どもの人数（%、加重値）

調査会社の登録属性



単位：%。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある
設問文は回答画面の文言のまま。各設問とも単一回答、n=4,650

職種は「一般事務・アシスタント・受付・秘書」が13.4%、「製造」9.6%。「その他」が28.7%

複数回答。1つだけ選んだ人は4,212人（加重で90.1%）

選択肢	%（加重）	n
経営・経営企画	2.2	100
財務・会計・経理	6.3	289
総務	7.7	391
法務	1.4	77
人事・人材育成・人材開発	3.4	164
福利厚生	0.9	57
資材・購買	1.2	60
広報・宣伝	0.7	36
マーケティング	1.0	38
コンサルタント（人事／戦略／会計）	0.3	14
コンサルタント（IT）	0.2	10
営業推進・営業企画	3.5	134
営業（外販）	6.8	250
一般事務・アシスタント・受付・秘書	**13.4**	**594**

選択肢	%（加重）	n
販売（店舗内・事業所内）	4.9	252
小売店・卸売店店長	0.9	41
顧客サービス・サポート	4.2	190
ソフトウェア開発・プログラマー	2.2	86
システムの企画・設計・開発	2.3	77
ネットワークの企画・設計・開発	1.1	46
システムの運用・保守	2.3	101
ネットワークの運用・保守	1.5	65
情報システム・情報セキュリティの設計・運用	1.6	62
商品開発・研究	3.8	161
製造	**9.6**	**492**
生産管理	2.6	122
品質管理	3.4	154
その他	**28.7**	**1,480**

単位：%。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。%は各職種を選んだ人の割合で、合計は100%を超える。濃い青の太字は見出しで触れた選択肢
設問：SC3 現在の職種をお答えください。（複数回答、n=4,650）

勤務地は47都道府県すべてにわたる

地域区分は当社の地域ブロック（首都圏＝当社区分で埼玉・東京・神奈川・山梨、関信越＝茨城・栃木・群馬・千葉・新潟・長野）

地域	都道府県	n	%（加重）
北海道	北海道	568	2.5
東北	青森県	85	0.6
東北	岩手県	87	0.6
東北	宮城県	152	1.0
東北	秋田県	74	0.6
東北	山形県	78	0.5
東北	福島県	100	0.7
首都圏	埼玉県	81	5.8
首都圏	東京都	408	28.5
首都圏	神奈川県	99	6.9
首都圏	山梨県	11	0.7
関信越	茨城県	97	2.2
関信越	栃木県	68	1.5
関信越	群馬県	74	1.7
関信越	千葉県	140	3.1
関信越	新潟県	115	2.7
関信越	長野県	59	1.4
中部	富山県	39	0.8
中部	石川県	36	0.8
中部	福井県	26	0.6
中部	岐阜県	55	1.2
中部	静岡県	103	2.4
中部	愛知県	250	5.5
中部	三重県	62	1.4
関西	滋賀県	39	0.9
関西	京都府	81	1.9
関西	大阪府	290	6.9
関西	兵庫県	151	3.7
関西	奈良県	16	0.4
関西	和歌山県	18	0.4
中四国	鳥取県	40	0.3
中四国	島根県	37	0.4
中四国	岡山県	89	0.8
中四国	広島県	148	1.2
中四国	山口県	68	0.6
中四国	徳島県	40	0.4
中四国	香川県	64	0.6
中四国	愛媛県	66	0.6
中四国	高知県	36	0.3
九州	福岡県	239	2.5
九州	佐賀県	41	0.4
九州	長崎県	55	0.6
九州	熊本県	80	0.9
九州	大分県	54	0.6
九州	宮崎県	29	0.3
九州	鹿児島県	73	0.7
九州	沖縄県	29	0.3

単位：%。%は加重値（地域×年代×性別のウエイトで母集団の構成に補正した値。方法はp.5）、n は回答者数（補正前）。四捨五入のため合計が100.0にならない場合がある。都道府県の%は合計が100.0にならない（四捨五入の積み上げ、合計99.4）
設問：SC6 あなたが現在主に勤務している勤務地の都道府県をお選びください。（単一回答、n=4,650）

本調査について｜引用・転載とお問い合わせ

引用・転載について

本資料のデータを引用・転載される際は、お問い合わせ先までご連絡ください。
そのうえで、次の出典を明記してください
出典：株式会社イトーキ 中央研究所「全国オフィスワーカー意識調査2026」（2026年11月）

お問い合わせ先

株式会社イトーキ　中央研究所　二之湯 弘章　ninoyu4tq5@itoki.jp